

第4章 学区別公共施設の現状

1 概要

本章では、本市を徒歩圏と想定される小学校の通学区域（以下「学区」という。）単位に分割し、公共施設の配置状況などについて分析します。

本市はJR高崎線を物理的な境界として東西に分けられ、さらに西は平方地区、大石地区、大谷地区、東は上尾地区、上平地区、原市地区に分けることができます。それぞれの地区は、3～5の学区に分かれています。

高崎線 東西	地区名	地区面積 (km ²)	地区人口 (人)	番号	小学校の通学 区域(学区)	施設数	床面積 (m ²)	人口 (人)
西	平方地区	5.74	20,088	1	平方小	9	28,469	8,251
				2	平方北小	5	8,575	4,916
				3	平方東小	3	15,346	6,921
	大石地区	11.90	39,651	4	大石南小	7	21,552	8,258
				5	大石小	7	13,283	17,158
				6	大石北小	5	15,360	14,235
	大谷地区	6.99	38,389	7	今泉小	4	9,109	8,422
				8	大谷小	10	28,305	14,964
				9	西小	2	13,358	6,515
				10	鴨川小	3	5,967	8,488
東	上尾地区	7.84	65,300	11	富士見小	8	19,902	14,424
				12	上尾小	6	14,689	13,261
				13	中央小	12	37,835	12,410
				14	東町小	6	19,285	12,538
				15	東小	12	26,333	12,667
	上平地区	7.27	27,929	16	芝川小	4	8,353	10,334
				17	上平小	11	22,461	11,234
				18	上平北小	1	4,599	6,361
	原市地区	5.82	36,589	19	原市小	8	17,638	12,925
				20	原市南小	4	6,466	10,245
				21	尾山台小	7	16,674	6,638
				22	瓦葺小	3	7,073	6,781
合計		45.55	227,946			137	360,635	227,946

2 地区別・学区別の人口構成

本市の人口構成について、視点を広域から学区別に移していくと、地区の階層ごとの特徴が見て取れます。

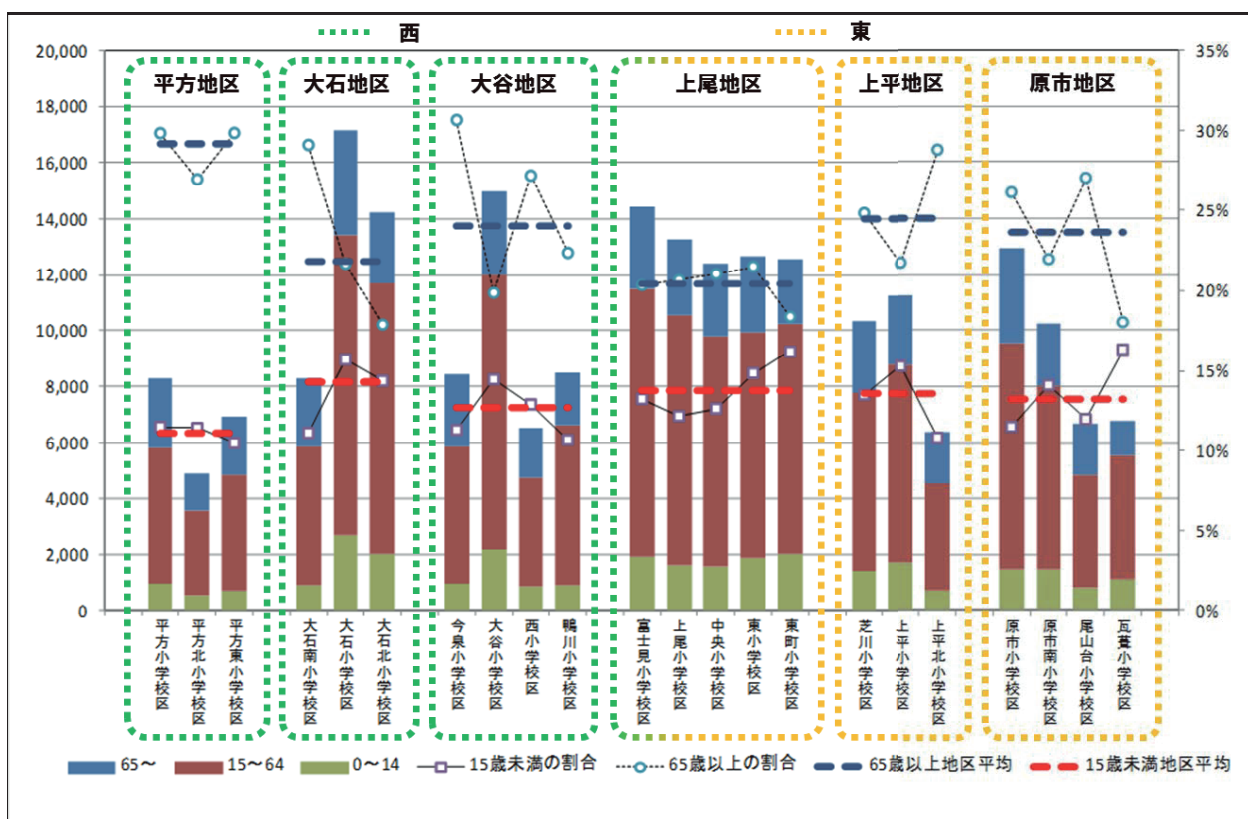
まず東西でみると、人口に大きな偏りは見られず、また0～14歳の年少人口の割合にも差はありませんが、65歳以上の高齢者人口の割合では西の方が高い傾向にあります。

次に平方、大石、大谷、上尾、上平、原市の6つの地区別でみると、JRの駅に近く中心市街地を含む大石地区と上尾地区に比べ、他の地区は高齢者人口の割合が高い傾向にあり、特に平方地区は年少人口の割合との差が大きく、少子高齢化が顕著であることが分かります。

さらに学区別では、上記6地区の同一地区内であっても人口構成には大きな違いがあり、行政サービスに対する市民ニーズも異なると予想されます。

こうした現状を踏まえ、今後の市の公共施設の最適化を図っていく上では、地区別・学区別に施設の配置を整理することが重要となります。

図表 4-1 地区別・学区別の人口¹構成

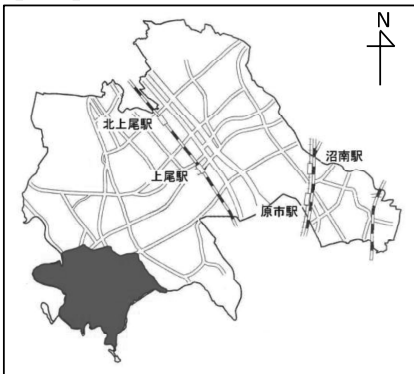


¹平成25年7月現在データによる

4. 学区別特徴分析 4-1. 平方小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西南部に位置し、学区の西は荒川が流れています。また、市域の西南端となり、さいたま市、川越市、川島町に隣接しています。

交通

学区内を東西に県道川越上尾線が通っています。バス／自動車利用が中心です。

土地利用

学区内のほとんどが市街化調整区域で、田畑が多く住宅地が地域に点在しています。学区内に私立高校などがあり、屋外利用型の公共施設も配置されています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

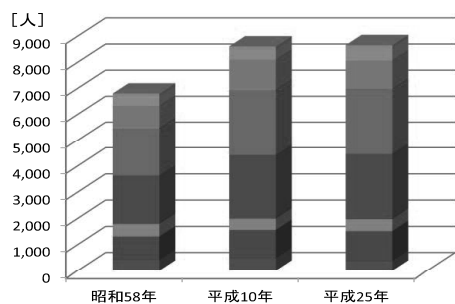
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
南	420	473	367	▲0.4%	↘
下宿	886	1,084	1,146	0.9%	↗
上宿	484	435	460	▲0.2%	↘
新田	1,835	2,420	2,472	1.0%	↗
上野	1,836	2,525	2,526	1.1%	↗
平方領々家	868	1,155	1,093	0.8%	↘
上野本郷	328	370	474	1.2%	↗
西貝塚	141	140	112	▲0.8%	↘
合計	6,798	8,602	8,650	0.8%	↗

[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

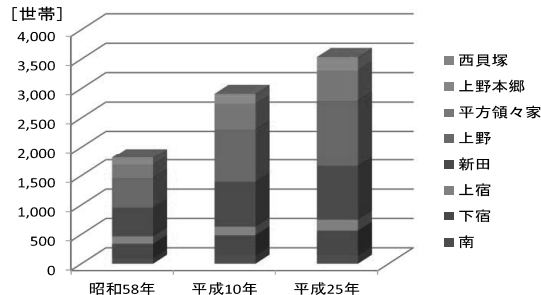
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
南	101	140	136	1.0%	↗
下宿	236	343	426	2.0%	↗
上宿	129	151	187	1.2%	↗
新田	487	756	919	2.1%	↗
上野	508	912	1,125	2.7%	↗
平方領々家	229	440	521	2.8%	↗
上野本郷	89	126	181	2.4%	↗
西貝塚	33	41	41	0.7%	↗
合計	1,812	2,909	3,536	2.3%	↗

*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率
*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

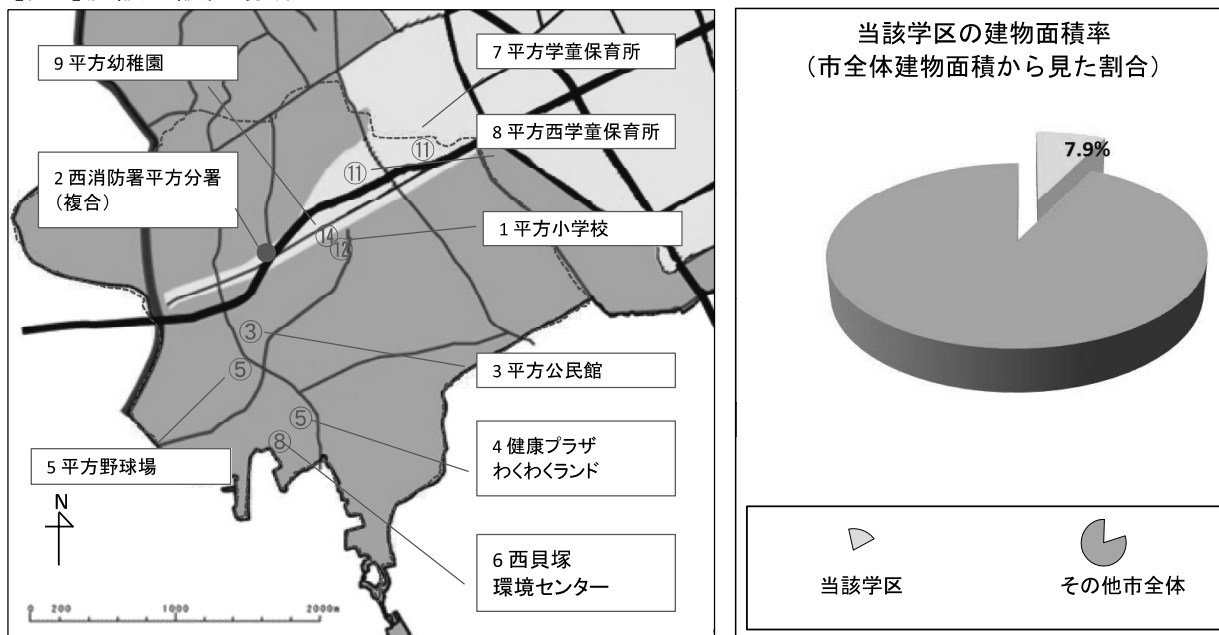
【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加していましたが、その後、平成10年から平成25年にかけてはほぼ横ばいとなっています。

【事務区別人口】
上野本郷地区、上野地区、新田地区では増加していますが、西貝塚地区ではやや減少しています。

【世帯数】
校区全体の世帯数は、大きく増加していますが、西貝塚地区の世帯数の増加は若干となっており、1世帯当たりの人数が4.27人(昭和58年)から2.73人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとします。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

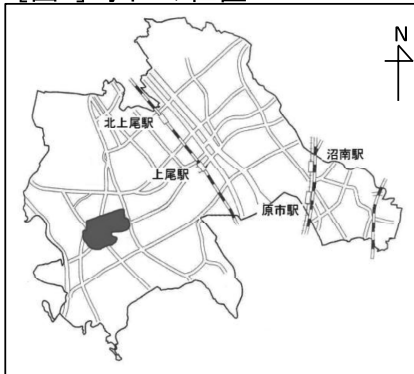
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数※ (年)	償却年数※	老朽化率	用途	用途番号	
1 平方小学校	3-12-4	6,403.00	約52	47	110.6%	小学校	⑫	
2 西消防署平方分署 (複合)	3-17-13	1,680.48				複合施設	●	
	上尾市役所 平方支所	3-1-4	361.16	約9	50	18.0%	市庁舎・支所・出張所	①
	上尾市図書館 たちばな分館	3-2-5	284.00	約9	50	18.0%	図書館	②
	西消防署平方分署	3-9-6	794.41	約9	50	18.0%	消防署	⑨
3 平方公民館	3-3-3	1,048.83	約28	50	56.0%	公民館・集会所	③	
4 健康プラザわくわくランド	3-5-5	3,644.26	約13	50	26.0%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤	
5 平方野球場	3-5-6	9.00	約20	22	90.9%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤	
6 西貝塚環境センター	3-8-1	15,003.00	約16	50	32.0%	ごみ処理施設	⑧	
7 平方学童保育所	3-11-9	84.00	約30	27	111.1%	学童保育所	⑪	
8 平方西学童保育所	3-11-21	101.00	約20	22	90.9%	学童保育所	⑪	
9 平方幼稚園	3-14-3	495.00	約53	47	112.8%	その他教育関連施設	⑭	
合計		28,468.57			50.7%			

4. 学区別特徴分析 4-2. 平方北小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西部の中央に位置しています。

交通

市の南西に位置し、バス／自動車利用が中心です。東は西環状線に接しており、今後は国道上尾バイパス線が整備され、利便性が向上すると考えられます。

土地利用

学区の西側は市街化調整区域で、東側は市街化区域となっています。また、学区内にUR（都市再生機構）の西上尾第二団地、県営の丸山団地があります。

II. 人口・世帯構成

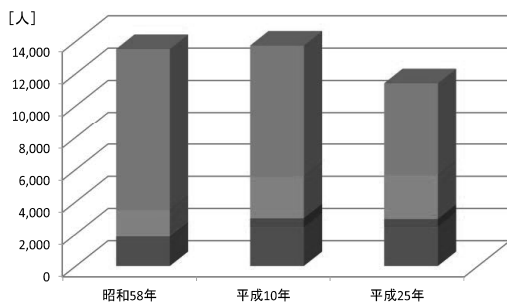
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
新田	1,835	2,420	2,472	1.0%	↗
丸山団地		546	450		↘
小敷谷東部	1,633	2,579	2,718	1.7%	↗
西上尾第二団地	10,049	8,189	5,757	▲1.8%	↘
合計	13,517	13,734	11,397	▲0.6%	↘

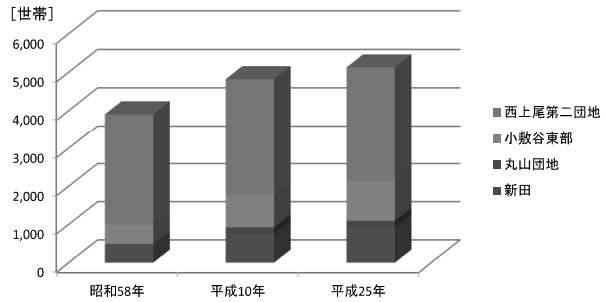
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
新田	487	756	919	2.1%	↗
丸山団地		171	175		↗
小敷谷東部	501	860	1,058	2.5%	↗
西上尾第二団地	2,916	3,032	2,972	0.1%	↔
合計	3,904	4,819	5,124	0.9%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけてほぼ横ばいですが、その後、平成10年から平成25年にかけては減少しています。

【事務区別人口】

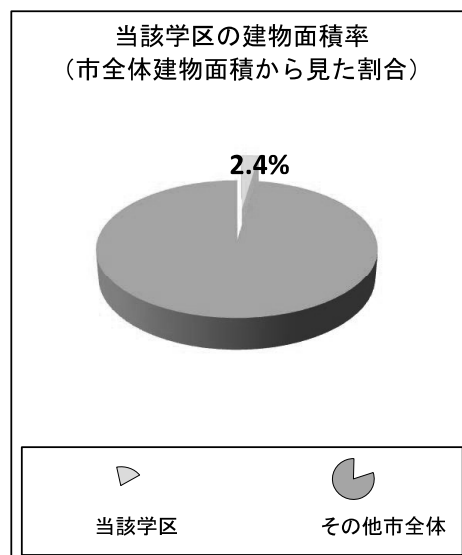
小敷谷東部地区、新田地区で人口が増加しており、特に、小敷谷東部地区で大きく増加しています。また、西上尾第二団地地区の人口は大きく減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、増加していますが、西上尾第二団地地区では、世帯数はほぼ横ばいで、1世帯あたりの人数が3.45人(昭和58年)から1.94人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したのとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

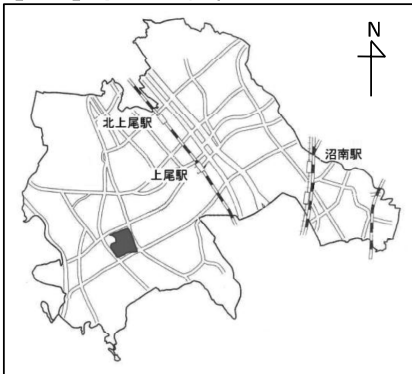
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	用途 番号
1	平方北小学校	3-12-20	7,075.00	約37	47	78.7%	小学校	⑫
2	上尾丸山公園小動物コーナー	3-5-3	190.00	約28	50	56.0%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
3	上尾丸山公園	3-6-1	593.00	約36	50	72.0%	公園	⑥
4	上尾西地域福祉センター ほほえみ	3-7-8	113.00	約21	31	67.7%	福祉・生活・相談施設	⑦
5	小敷谷保育所	3-10-12	604.45	約39	47	83.0%	保育所	⑩
	合計		8,575.45			77.9%		

4. 学区別特徴分析 4-3. 平方東小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西部中央に位置しています。

交通

市の南西に位置し、バス／自動車利用が中心です。東に市に環状線が通っており、今後は国道上尾バイパス線が整備され、利便性が向上すると考えられます。

土地利用

UR(都市再生機構)の西上尾第二団地があります。

II. 人口・世帯構成

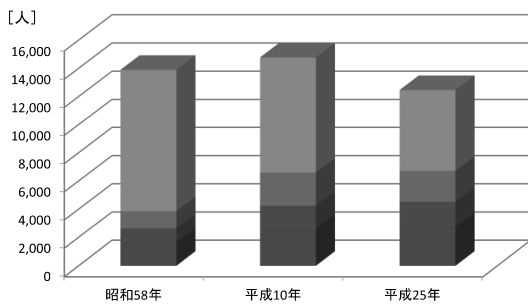
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	(単位:人)				
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
小敷谷東部	1,633	2,579	2,718	1.7%	↗
地頭方	991	1,653	1,788	2.0%	↗
壺丁目	1,221	2,351	2,198	2.0%	↗
西上尾第二団地	10,049	8,189	5,757	▲1.8%	↘
合計	13,894	14,772	12,461	▲0.4%	↘

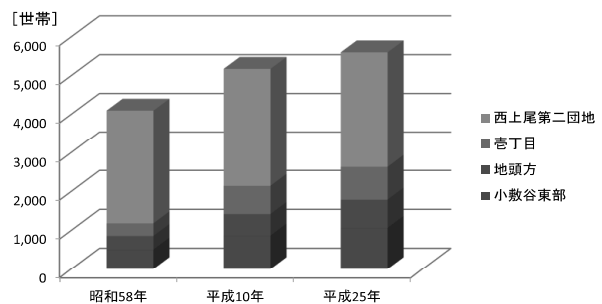
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	(単位:世帯)				
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
小敷谷東部	501	860	1,058	2.5%	↗
地頭方	349	554	724	2.5%	↗
壺丁目	326	724	842	3.2%	↗
西上尾第二団地	2,916	3,032	2,972	0.1%	↔
合計	4,092	5,170	5,596	1.0%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけてほぼ横ばいですが、その後平成25年にかけては減少しています。

【事務区別人口】
地頭方地区、壺丁目地区、小敷谷東部地区では人口が大きく増加していますが、西上尾第二団地地区の人口は大きく減少しています。

【世帯数】
学区全体の世帯数は増加しており、壺丁目地区、地頭方地区、小敷谷東部地区の増加が大きくなっています。また、西上尾第二団地地区では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯当たりの人数が3.45人(昭和58年)から1.94人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

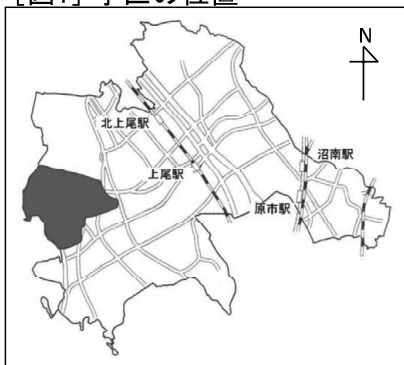
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	用途 番号
1	平方東小学校(複合)	3-17-18	7,241.00				複合施設	●
	平方東小学校	3-12-12	6,850.00	約40	47	85.1%	小学校	⑫
	上尾市図書館 平方分館	3-2-3	391.00	約40	47	85.1%	図書館	②
2	西上尾第二保育所	3-10-6	648.00	約43	34	126.5%	保育所	⑩
3	太平中学校	3-13-2	7,457.00	約45	47	95.7%	中学校	⑬
	合計		15,346.00			92.0%		

4. 学区別特徴分析 4-4. 大石南小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西部に位置し、校区の西は荒川が流れています。また、市域の西端となり、桶川市と川島町に隣接しています。

交通

今後、学区内に国道上尾バイパス線が整備され、利便性が向上すると考えられます。東武バスの西上尾車庫を有しており、市の中心部である上尾駅への公共交通として利用されています。

土地利用

主に市街化調整区域により構成されていますが、学区の北端に市街化区域の工業地帯があり、領家工業団地を有しています。西は荒川に接し、牧場や畑などに利用されています。東は一部市街化区域の住宅地があり、UR(都市再生機構)の西上尾第一団地があります。南には丸山公園を有しています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

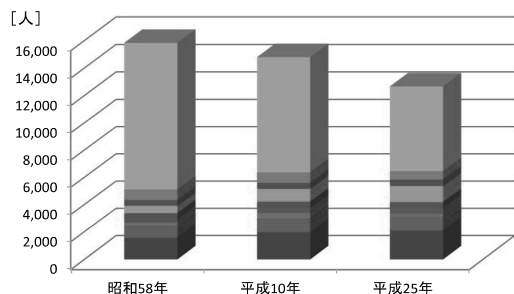
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
小敷谷西部	1,552	1,948	2,070	1.0%	↗
畔吉東部	872	1,064	1,038	0.6%	↔
畔吉前原	220	360	203	▲0.3%	↘
畔吉新田	293	371	453	1.5%	↗
畔吉雲雀	421	468	409	▲0.1%	↘
領家東部	548	933	1,191	2.6%	↗
領家西部	423	437	462	0.3%	↔
サニータウン	768	769	616	▲0.7%	↘
西上尾第一団地	10,734	8,445	6,221	▲1.8%	↘
合計	15,831	14,795	12,663	▲0.7%	↘

[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

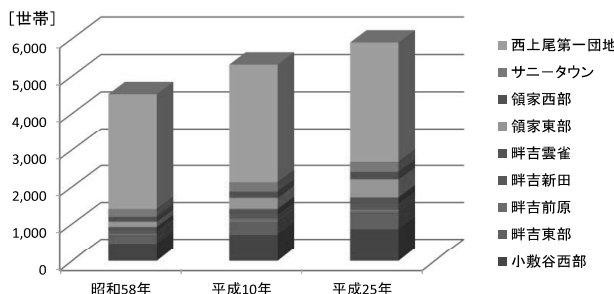
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
小敷谷西部	455	701	854	2.1%	↗
畔吉東部	236	345	450	2.2%	↗
畔吉前原	49	97	77	1.5%	↔
畔吉新田	71	111	170	3.0%	↗
畔吉雲雀	106	145	161	1.4%	↗
領家東部	145	306	490	4.1%	↗
領家西部	130	165	201	1.5%	↗
サニータウン	210	254	270	0.8%	↗
西上尾第一団地	3,115	3,184	3,225	0.1%	↔
合計	4,517	5,308	5,898	0.9%	↗

*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけてわずかに減少し、平成25年度にかけても引き続き減少しています。

【事務区別人口】

領家東部地区、畔吉新田地区では人口が大きく増加しています。この地区は、市街化区域やその隣接地であるといった学区内においては利便性の高い地区であることから人口・世帯ともに増加しています。

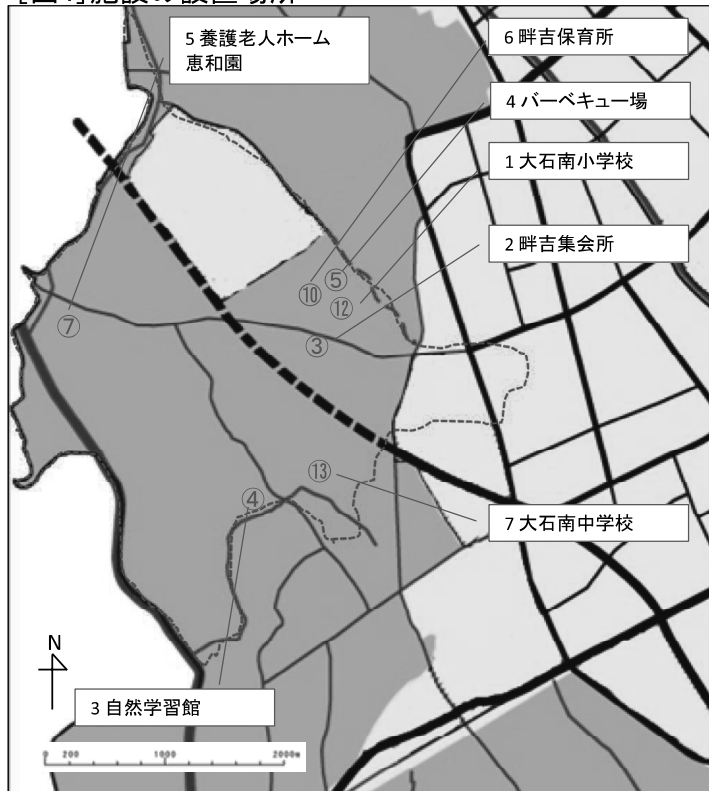
西上尾第一団地地区では、人口が大きく減少し、サニータウン地区でもやや減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は増加していますが、西上尾第一団地地区では、世帯数はほぼ横ばいで、1世帯あたりの人数が3.45人(昭和58年)から1.93人(平成25年)に減少しています。

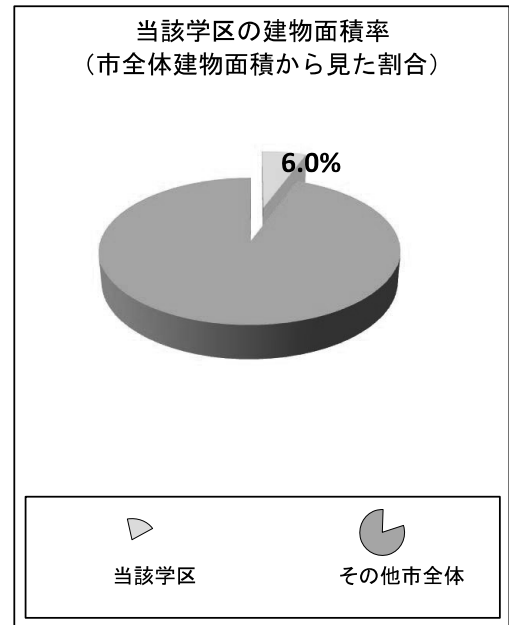
Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



注:大石南学童保育所は移動対象。

※点線は各学区を大まかに示したものとなります。



[表3]学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

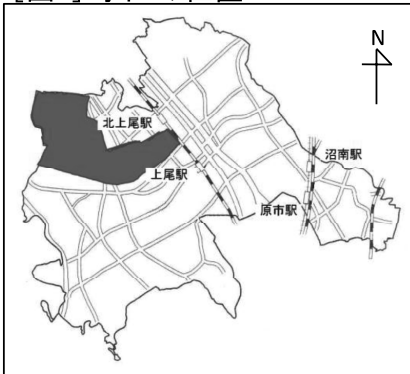
	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数※ (年)	償却年数※	老朽化率	用途	用途番号
1	大石南小学校	3-12-11	7,094.00	約40	47	85.1%	小学校	⑫
2	畔吉集会所	3-3-8	482.76	約36	34	105.9%	公民館・集会所	③
3	自然学習館	3-4-6	1,576.00	約15	50	30.0%	文化施設	④
4	バーベキュー場	3-5-4	154.00	約14	24	58.3%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
5	養護老人ホーム 恵和園	3-7-7	2,865.59	約18	50	36.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
6	畔吉保育所	3-10-16	607.50	約32	47	68.1%	保育所	⑩
7	大石南中学校	3-13-8	8,772.00	約37	47	78.7%	中学校	⑬
	合計		21,551.85			71.7%		

4. 学区別特徴分析

4-5. 大石小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西北部に位置し、学区には鴨川が流れています。また、市域の西北端となり、桶川市に隣接しています。

交通

学区東側はJR北上尾駅徒歩圏となります。西側は、JR上尾駅、JR北上尾駅へはバス/自動車利用圏となります。また、学区内を東西に県道上尾久喜線、南北に西環状線が通っています。

土地利用

学区東部は区画整理が進んだ住宅地であり、JR北上尾駅に近接しています。西部は市街化調整区域で、ゴルフ場やふるさと緑の景観地や浄水場などがあります。

II. 人口・世帯構成

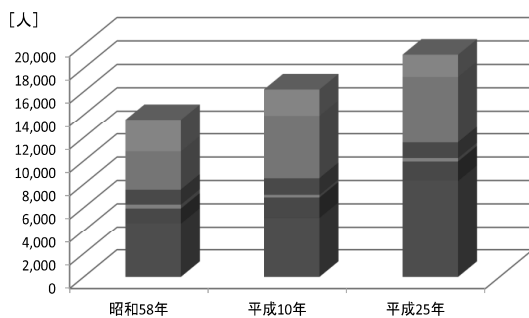
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
小泉	4,625	5,125	8,281	2.0%	↗
下芝	1,288	1,736	1,654	0.8%	↔
中分	351	235	300	▲0.5%	↘
藤波	1,263	1,409	1,342	0.2%	↔
浅間台(1~4)	3,270	5,411	5,672	1.9%	↗
三井	2,767	2,264	1,901	▲1.2%	↘
合計	13,564	16,180	19,150	1.2%	↗

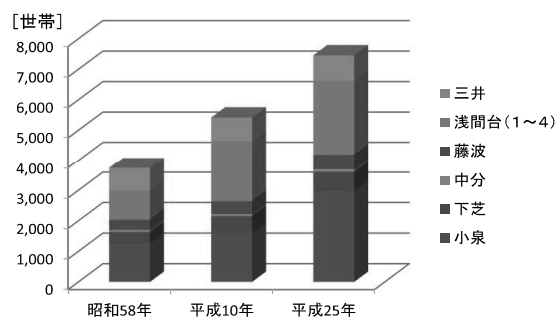
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
小泉	1,276	1,607	2,981	2.9%	↗
下芝	349	546	617	1.9%	↗
中分	76	65	95	0.7%	↔
藤波	331	419	491	1.3%	↗
浅間台(1~4)	955	1,999	2,439	3.2%	↗
三井	751	780	832	0.3%	↔
合計	3,738	5,416	7,455	2.3%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成25年にかけてやや増加しております。

【事務区別人口】

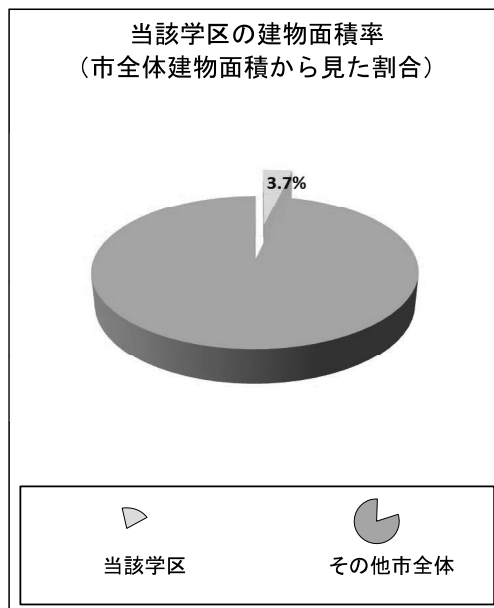
小泉地区、浅間台地区で人口が大きく増加しています。特に小泉地区では、平成10年から平成25年にかけて、浅間台地区では、昭和58年から平成10年にかけての増加率が高くなっています。また、三井地区では人口が大きく減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は大きく増加しています。特に、小泉地区、浅間台地区では人口の増加に伴い、世帯数も大きく増加しています。また、三井地区では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯あたりの人数が3.68人(昭和58年)から2.28人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

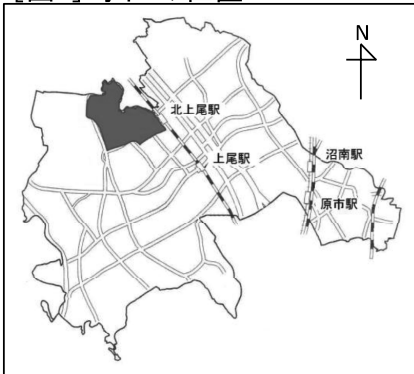
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積(m ²)	築年数※(年)	償却年数※	老朽化率	用途	用途番号
1	大石小学校	3-12-5	7,142.00	約45	47	95.7%	小学校	⑫
2	西消防署(複合)	3-17-12	3,608.00				複合施設	●
	上尾市役所 大石支所	3-1-6	406.00	約7	38	18.4%	市庁舎・支所・出張所	①
	上尾市図書館 大石分館	3-2-6	479.00	約7	38	18.4%	図書館	②
	西消防署	3-9-4	2,284.00	約7	38	18.4%	消防署	⑨
3	大石公民館	3-3-5	1,509.50	約24	50	48.0%	公民館・集会所	③
4	つくし学園	3-7-10	641.00	約39	47	83.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
5	大石南学童保育所	3-11-19	96.00	約25	34	73.5%	学童保育所	⑪
6	大石学童保育所	3-11-13	187.00	約24	22	109.1%	学童保育所	⑪
7	大石第二学童保育所(民)	3-11-14	99.45	(賃貸)			学童保育所	⑪
	合計		13,282.95			67.4%		

4. 学区別特徴分析 4-6. 大石北小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置
市の中央・北部に位置し市域の北端となり、桶川市に隣接しています。

交通
学区南部はJR北上尾駅の徒歩圏に、北部はJR桶川駅の徒歩圏にあり、鉄道利用の利便性が良い地区です。また、学区内を南北に上尾池袋線が通っています。

土地利用
北上尾駅周辺の土地区画整理が行われた区域で、住宅地としての利用が大部分を占めています。
学区の中心部に鴨川中央公園が配置されています。
学区東端の桶川市に隣接する区域に工場が立地しています。

II. 人口・世帯構成

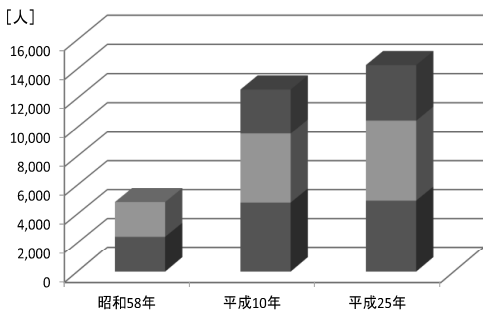
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
井戸木	2,425	4,793	4,927	2.4%	↗
中妻(1,2、中妻北区含む)	2,407	4,787	5,541	2.8%	↗
泉台		3,014	3,802		↗
合計	4,832	12,594	14,270	3.7%	↗

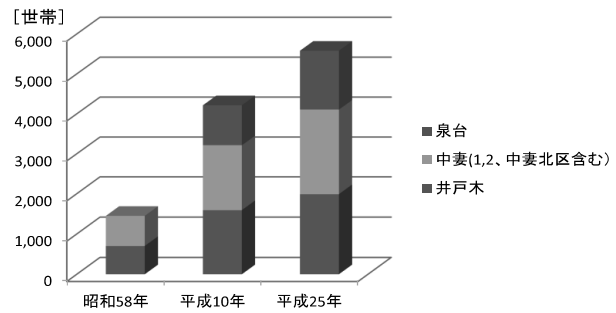
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
井戸木	700	1,589	1,986	3.5%	↗
中妻(1,2、中妻北区含む)	749	1,626	2,122	3.5%	↗
泉台		999	1,472		↗
合計	1,449	4,214	5,580	4.6%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析
【学区全体の人口】
 学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加し、その後、平成25年にかけても伸び率が鈍化しているものの増加傾向が継続しています。これは、区画整理が行われたことにより、宅地整備が進み、転入者が増加したことによるものです。
【事務区別人口】
 昭和58年から平成10年にかけては、井戸木地区、中妻地区で人口が大きく増加し、その後平成25年にかけては泉台地区で大きな増加が見られます。
【世帯数】
 学区全体の世帯数も人口と同様、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加し、その後平成25年にかけても高い増加率が継続しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものととなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

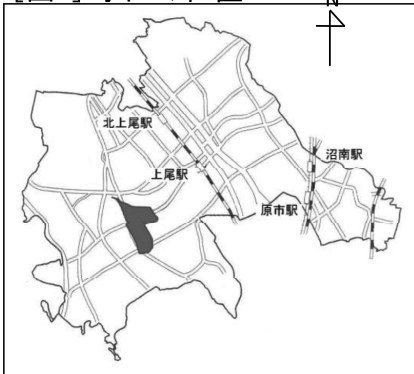
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	用途 番号
1	大石北小学校	3-12-21	7,088.00	約35	47	74.5%	小学校	⑫
2	大石保育所	3-10-11	476.30	約40	27	148.1%	保育所	⑩
3	大石北学童保育所	3-11-24	94.00	約29	60	48.3%	学童保育所	⑪
4	大石北第二学童保育所(民)	3-11-25	130.85	(賃貸)			学童保育所	⑪
5	大石中学校	3-13-3	7,571.00	約46	47	97.9%	中学校	⑬
	合計		15,360.15			87.5%		

4. 学区別特徴分析 4-7. 今泉小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西部中央に位置しています。

交通

バス／自動車利用が中心ですが、大型商業施設が立地し、生活利便性は高いと言えます。また、学区内を東西に上尾平方線が通っており、南北に国道上尾バイパス線が通っています。

土地利用

土地区画整理が進んだ住宅地であり、学区内にはUR(都市再生機構)の西上尾第一団地があります。

II. 人口・世帯構成

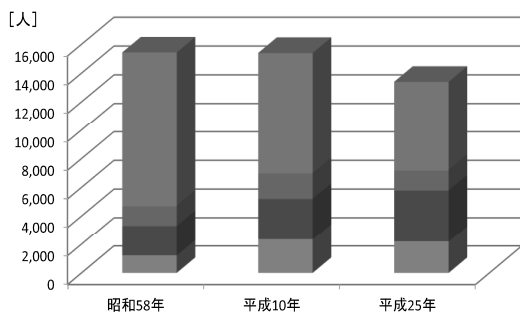
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
壺丁目	1,221	2,351	2,198	2.0%	↗
今泉	2,071	2,834	3,573	1.8%	↗
川	1,411	1,772	1,409	▲0.0%	↘
西上尾第一団地	10,734	8,445	6,221	▲1.8%	↘
合計	15,437	15,402	13,401	▲0.5%	↘

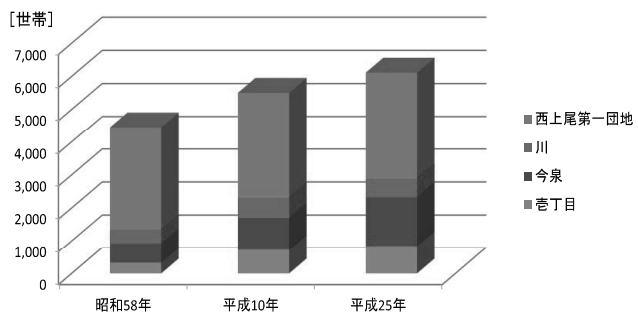
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
壺丁目	326	724	842	3.2%	↗
今泉	588	971	1,477	3.1%	↗
川	428	625	570	1.0%	↘
西上尾第一団地	3,115	3,184	3,225	0.1%	↗
合計	4,457	5,504	6,114	1.1%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

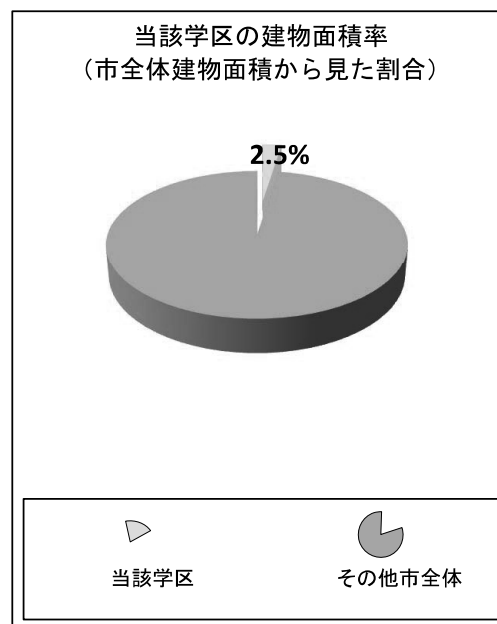
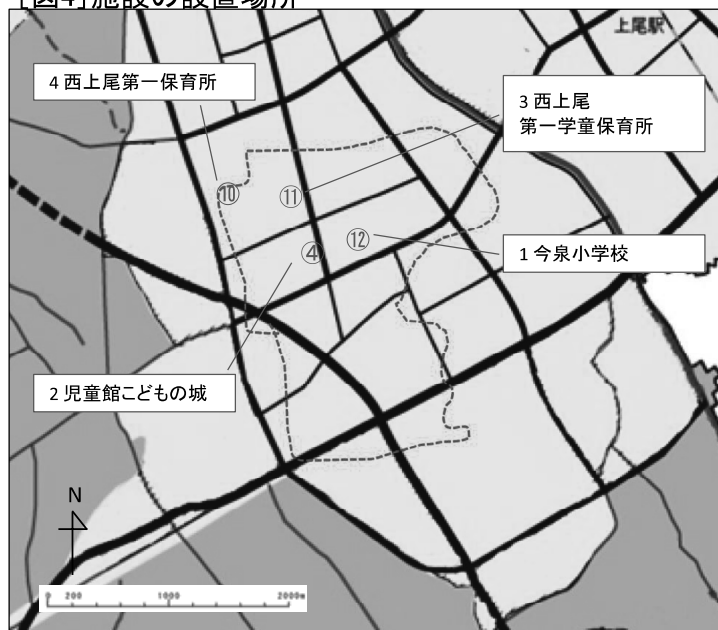
【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけてわずかに減少し、その後平成25年にかけても引き続き減少しています。

【事務区別人口】
壺丁目地区、今泉地区では人口が大きく増加していますが、西上尾第一団地では人口が大きく減少しています。

【世帯数】
学区全体の世帯数は増加しており、壺丁目地区、今泉地区の増加が大きくなっています。また、西上尾第一団地では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯当たりの人数が3.45人(昭和58年)から1.93人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4] 施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとします。

[表3] 学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

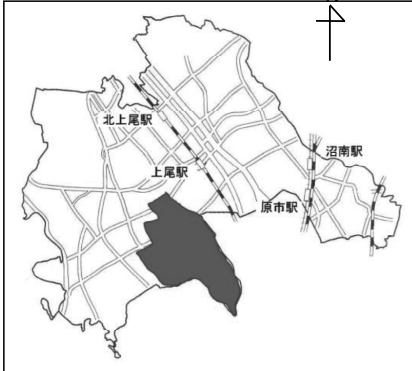
	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	今泉小学校	3-12-17	6,318.00	約38	47	80.9%	小学校	⑫
2	児童館こどもの城	3-4-8	2,316.00	約8	47	17.0%	文化施設	④
3	西上尾第一保育所	3-10-3	366.12	約44	34	129.4%	保育所	⑩
4	西上尾第一学童保育所	3-11-8	109.00	約24	34	70.6%	学童保育所	⑪
	合計		9,109.12			66.5%		

4. 学区別特徴分析

4-8. 大谷小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西部南に位置し、学区の東は鴨川が流れています。また、市域の南端となり、さいたま市に隣接しています。

交通

バス／自動車利用が中心ですが、学区南部はJR宮原駅も利用されています。学区内を東西に県道川越上尾線が通っています。

土地利用

北部は上尾駅徒歩圏にあり、区画整理が行われた住宅地ですが、学区の中央には大型工場があり、周辺にも中小の工場が点在しています。南部は市街化調整区域で私立大学がありますが、公共施設のほとんどは北部に位置しています。

II. 人口・世帯構成

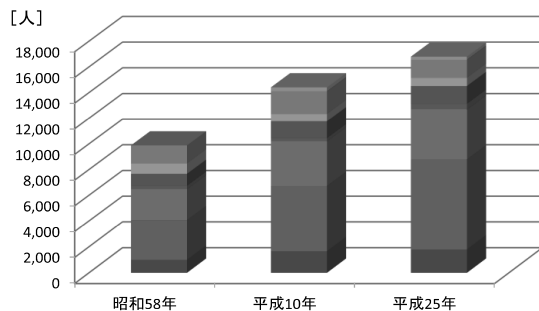
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
地頭方	991	1,653	1,788	2.0%	↗
向山	3,069	5,060	6,991	2.8%	↗
大谷本郷	2,416	3,486	3,901	1.6%	↗
堤崎	256	244	447	1.9%	↗
中新井	929	1,315	1,381	1.3%	↗
戸崎	803	566	632	▲0.8%	↘
川	1,411	1,772	1,409	▲0.0%	↔
戸崎団地		312	247		↘
合計	9,875	14,408	16,796	1.8%	↗

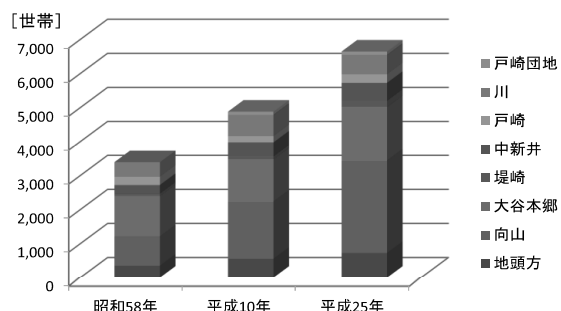
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
地頭方	349	554	724	2.5%	↗
向山	860	1,682	2,715	3.9%	↗
大谷本郷	1,190	1,240	1,579	0.9%	↗
堤崎	66	83	179	3.4%	↗
中新井	254	415	526	2.5%	↗
戸崎	243	187	252	0.1%	↔
川	428	625	570	1.0%	↗
戸崎団地		94	99		↗
合計	3,390	4,880	6,644	2.3%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加しており、その後伸びが鈍化しているものの、平成25年にかけても増加が続いています。

【事務区別人口】

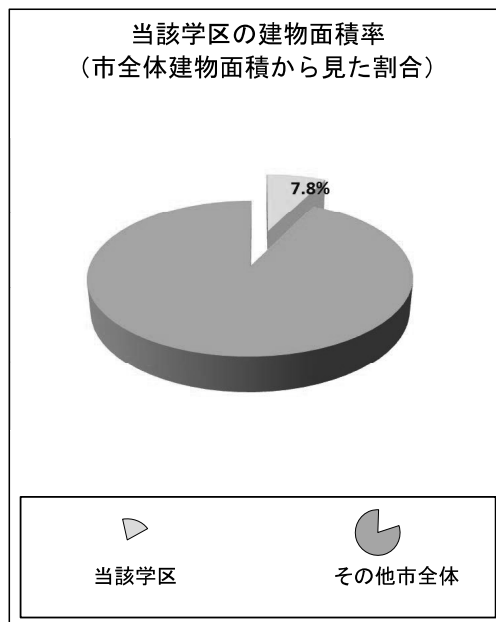
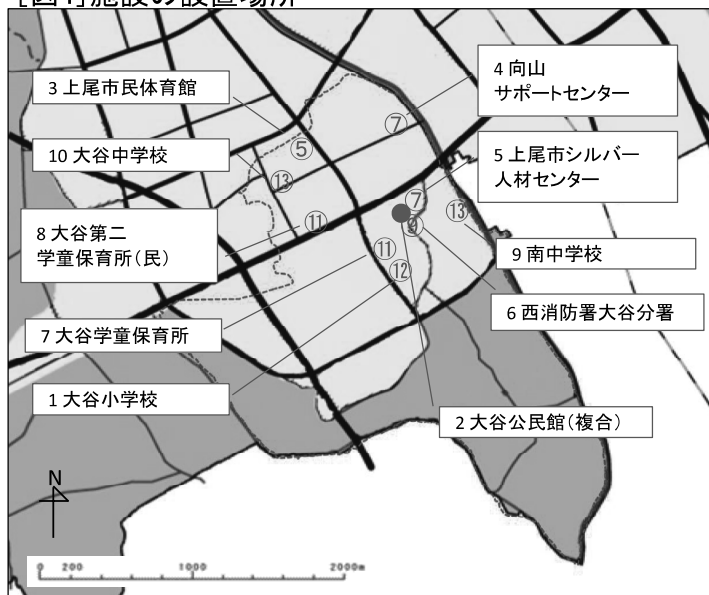
向山地区、地頭方地区、堤崎地区では人口が大きく増加していますが、戸崎地区ではやや減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は大きく増加しており、特に、向山地区と堤崎地区の増加が大きくなっています。また、戸崎地区では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯数当たりの人数が3.3人(昭和58年)から2.51人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4] 施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3] 学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

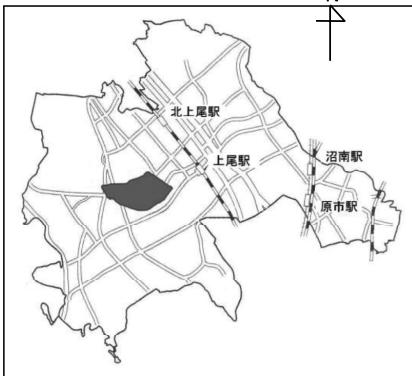
施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年数 ※	老朽化率	用途	記号	
1 大谷小学校	3-12-3	5,928.00	約42	47	89.4%	小学校	⑫	
2 大谷公民館(複合)	3-17-4	1,995.61				複合施設	●	
	上尾市役所 大谷支所	3-1-8	31.45	約22	38	57.9%	市庁舎・支所・出張所	①
	大谷公民館図書室	3-2-9	197.00	約22	50	44.0%	図書館	②
	大谷公民館	3-3-6	1,767.16	約22	50	44.0%	公民館・集会所	③
3 上尾市民体育館	3-5-2	6,799.00	約34	34	100.0%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤	
4 向山サポートセンター	3-7-9	74.52	約26	22	118.2%	福祉・生活・相談施設	⑦	
5 上尾市シルバー人材センター	3-7-15	326.71	約20	38	52.6%	福祉・生活・相談施設	⑦	
6 西消防署大谷分署	3-9-5	676.01	約26	50	52.0%	消防署	⑨	
7 大谷学童保育所	3-11-22	191.00	約18	22	81.8%	学童保育所	⑪	
8 大谷第二学童保育所(民)	3-11-23	109.44	(賃貸)			学童保育所	⑪	
9 南中学校	3-13-10	6,142.00	約35	47	74.5%	中学校	⑬	
10 大谷中学校	3-13-11	6,063.00	約29	47	61.7%	中学校	⑨	
合計		28,305.29			77.9%			

4. 学区別特徴分析

4-9. 西小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の西部の中央に位置し、校区には鴨川が流れています。

交通

学区東部はJR上尾駅徒歩圏ですが、西部はバス／自動車利用圏です。学区内を東西に小敷谷吉田線が通っています。

土地利用

学区内は全て低層住宅中心の住宅地です。幹線道路沿いに一部店舗が見られます。

II. 人口・世帯構成

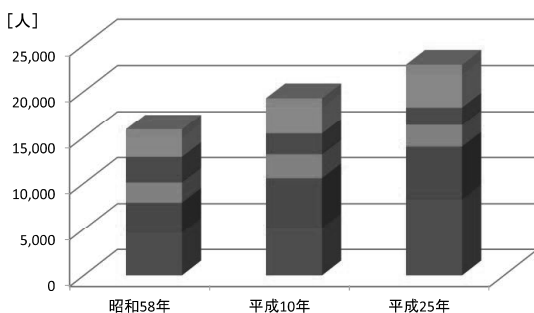
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
小泉	4,625	5,125	8,281	2.0%	↗
浅間台(1~4)	3,270	5,411	5,672	1.9%	↗
弁財(1~2)	2,190	2,591	2,393	0.3%	↘
三井	2,767	2,264	1,901	▲1.2%	↘
今泉	2,071	2,834	3,573	1.8%	↗
東今泉	924	1,037	1,064	0.5%	↗
合計	15,847	19,262	22,884	1.2%	↗

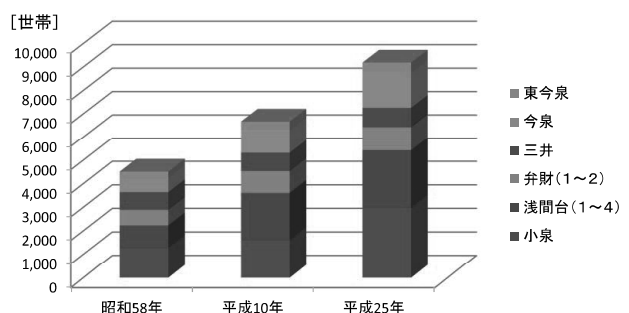
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
小泉	1,276	1,607	2,981	2.9%	↗
浅間台(1~4)	955	1,999	2,439	3.2%	↗
弁財(1~2)	659	929	1,007	1.4%	↗
三井	751	780	832	0.3%	↗
今泉	588	971	1,477	3.1%	↗
東今泉	282	385	454	1.6%	↗
合計	4,511	6,671	9,190	2.4%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加していますが、その後伸びが鈍化しているものの、平成25年にかけても増加しています。

【事務区別人口】

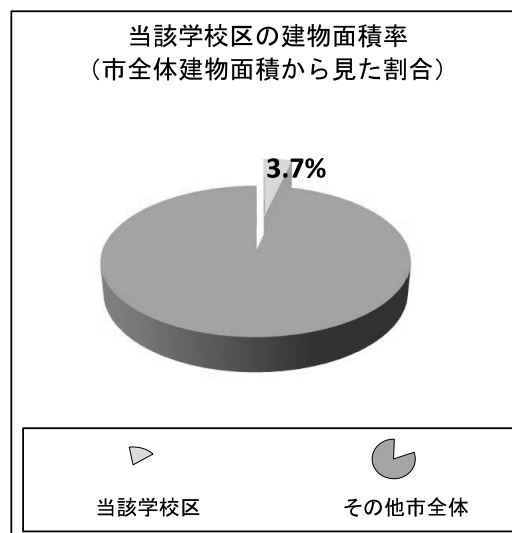
小泉地区、浅間台地区、今泉地区では人口が大きく増加しています。特に小泉地区では、平成10年から平成25年にかけて、浅間台地区では、昭和58年から平成10年にかけて大きな増加となっています。また、三井地区では人口が減少しています。

【世帯数】

校区全体の世帯数は大きく増加しており、特に、浅間台地区、今泉地区、小泉地区の増加が大きくなっています。三井地区では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯当たりの人数が3.68人(昭和58年)から2.28人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したのとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

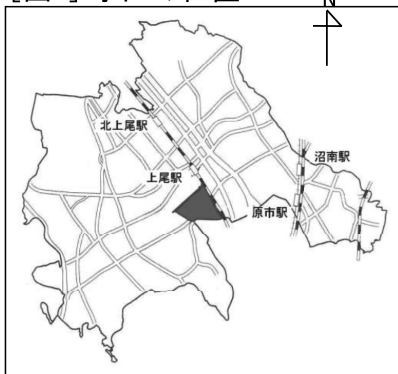
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	西小学校(複合)	3-17-17	7,202.00				複合施設	●
	西小学校	3-12-18	6,861.00	約38	47	80.9%	小学校	⑫
	西小なかよし児童クラブ	3-11-29	194.00	約7	47	14.9%	学童保育所	⑪
2	西中学校	3-13-6	6,156.00	約43	47	91.5%	中学校	⑬
	合計		13,358.00			83.9%		

4. 学区別特徴分析 4-10. 鴨川小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の中央・南部に位置し、市域の南端となり、さいたま市に隣接しています。

交通

学区北部は、JR上尾駅徒歩圏ですが、南部は、バス／自動車利用圏です。学区内を東西に県道川越上尾線が通っています。

土地利用

JR上尾駅南方の住宅地域で、住宅利用と店舗利用等が混在しています。

II. 人口・世帯構成

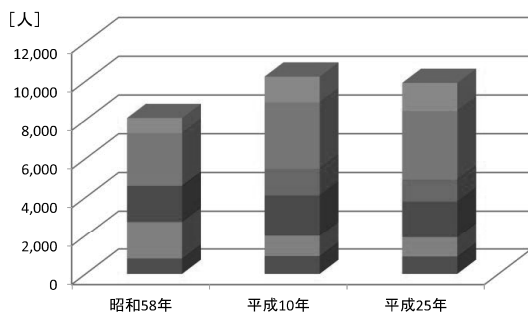
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
谷津一丁目	791	921	890	0.4%	↔
富士見(1~2)	1,940	1,064	1,019	▲2.1%	↘
富士見団地	1,863	2,111	1,867	0.0%	↔
ソフィア上尾		1,378	1,123		↘
西宮下一区(1,2,4)	2,733	3,425	3,579	0.9%	↗
西宮下二区(3)	769	1,334	1,431	2.1%	↗
合計	8,096	10,233	9,909	0.7%	↗

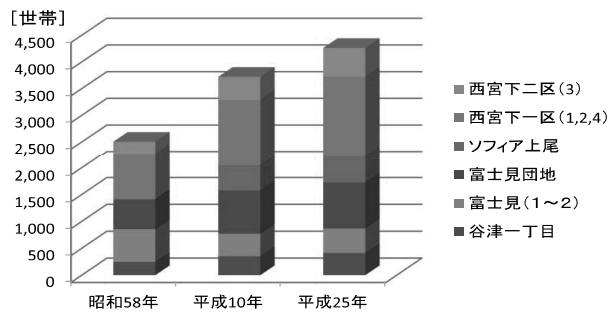
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
谷津一丁目	246	350	411	1.7%	↗
富士見(1~2)	609	421	459	▲0.9%	↘
富士見団地	556	802	853	1.4%	↗
ソフィア上尾		467	495		↗
西宮下一区(1,2,4)	860	1,244	1,507	1.9%	↗
西宮下二区(3)	233	436	536	2.8%	↗
合計	2,504	3,720	4,261	1.8%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

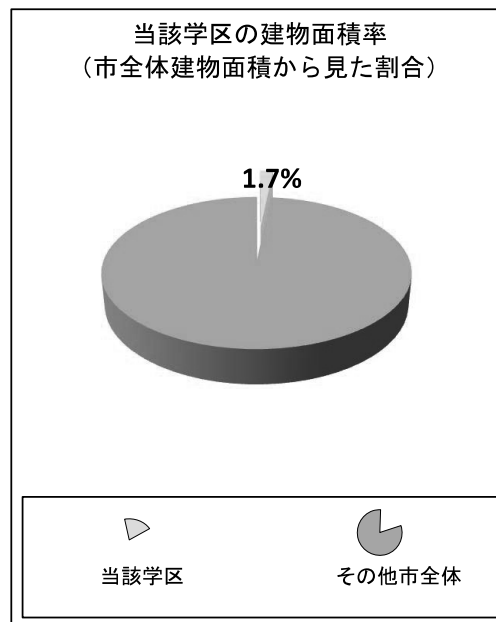
【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加していましたが、その後、平成25年にかけてはわずかに減少となっています。

【事務区別人口】
西宮下二区地区では人口が大きく増加していますが、富士見地区では人口が減少しています。

【世帯数】
学区全体の世帯数は大きく増加しており、特に、西宮下二区地区の増加率が高くなっています。また、富士見地区では減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4] 施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3] 学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

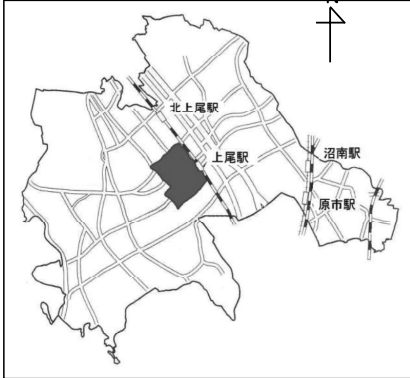
	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	鴨川小学校	3-12-14	5,194.00	約40	47	85.1%	小学校	⑫
2	大谷保育所	3-10-10	598.49	約40	47	85.1%	保育所	⑩
3	鴨川小学童保育所	3-11-17	174.57	約1	22	4.5%	学童保育所	⑪
	合計		5,967.06			82.7%		

4. 学区別特徴分析

4-11. 富士見小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の中央を南北に縦断するJR高崎線の西側にあり、学区の西端には鴨川が流れています。

交通

JR上尾駅の徒歩圏にあり、学区の東端にJR高崎線が、また、学区の南端に東西に上尾平方線が通っています。

土地利用

JR上尾駅周辺は商業施設と高層の都市型住宅があり、中心市街地を形成しています。西宮下中妻線以西は、低層住宅を主体とする住宅地となっています。

II. 人口・世帯構成

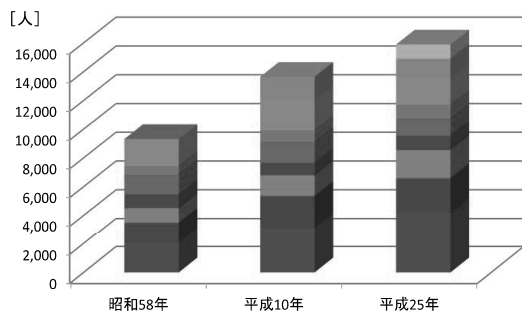
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
春日(1~2)	2,081	3,140	4,155	2.3%	↗
柏座一丁目	1,409	2,212	2,427	1.8%	↗
柏座二丁目	1,017	1,442	1,972	2.2%	↗
柏座三丁目	952	852	980	0.1%	↔
柏座四丁目	1,375	1,451	1,189	▲0.5%	↘
谷津二丁目	611	816	972	1.6%	↗
富士見団地	1,863	2,111	1,867	0.0%	↔
パーク上尾		1,616	1,338		↘
フィーリア上尾			982		↗
合計	9,308	13,640	15,882	1.8%	↗

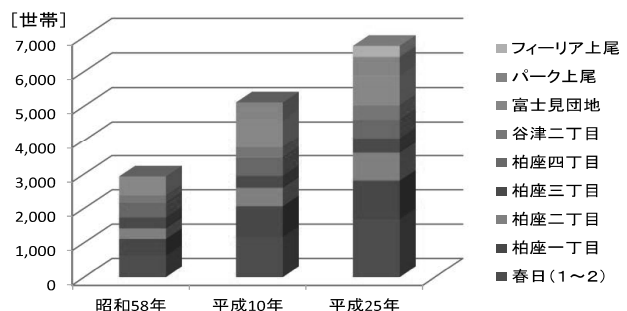
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
春日(1~2)	625	1,170	1,688	3.4%	↗
柏座一丁目	483	890	1,115	2.8%	↗
柏座二丁目	315	543	827	3.3%	↗
柏座三丁目	305	333	427	1.1%	↗
柏座四丁目	432	542	538	0.7%	↔
谷津二丁目	215	313	430	2.3%	↗
富士見団地	556	802	853	1.4%	↗
パーク上尾		518	548		↗
フィーリア上尾			317		↗
合計	2,931	5,111	6,743	2.8%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加しており、その後、伸び率が鈍化したものの平成25年にかけても増加が続いています。

【事務区別人口】

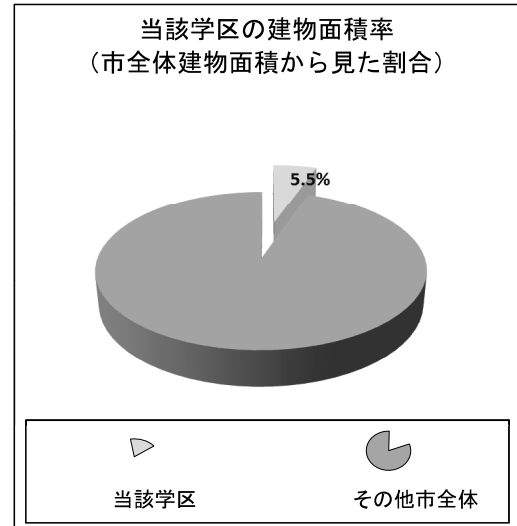
春日地区、柏座二丁目地区では、人口が大きく増加しており、これは、パーク上尾地区、フィーリア上尾地区の高層マンションが増えていることによるものです。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、大きく増加しており、特に、春日地区、柏座二丁目地区の増加が大きくなっています。また、フィーリア上尾地区では1世帯当たりの人数が3.10人(平成25年)と市の平均(2.41人)と比較して高い水準となっています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

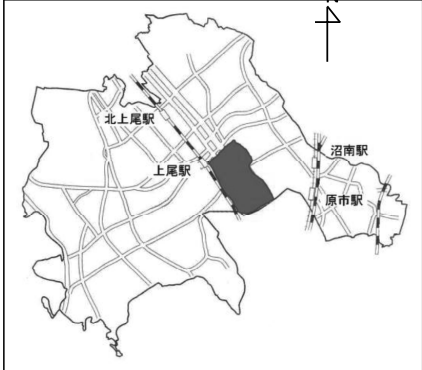
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	富士見小学校(複合)	3-17-16	10,460.49				複合施設	●
	富士見小学校	3-12-8	10,332.00	約2	47	4.3%	小学校	⑫
	富士見小学童保育所	3-11-10	128.49	約2	47	4.3%	学童保育所	⑪
2	コミュニティセンター(複合)	3-17-8	5,006.69				複合施設	●
	コミュニティセンター	3-4-2	4,902.69	約31	50	62.0%	文化施設	④
	消費生活センター	3-7-11	104.00	約31	50	62.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
3	上尾西保育所(複合)	3-17-15	1,154.28				複合施設	●
	子育て支援センター	3-7-20	118.47	約12	34	35.3%	福祉・生活・相談施設	⑦
	上尾西保育所	3-10-5	1,035.81	約12	34	35.3%	保育所	⑩
4	上尾市プラザ22	3-1-3	567.00	約12	47	25.5%	市庁舎・支所・出張所	①
5	上尾市役所 上尾駅出張所	3-1-10	110.00	約34	38	89.5%	市庁舎・支所・出張所	①
6	西保健センター	3-7-1	941.00	約33	50	66.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
7	富士見小第二学童保育所(民)	3-11-11	63.90	(賃貸)			学童保育所	⑪
8	サイクルポート南	3-16-2	1,599.00	約31	38	81.6%	その他の施設	⑯
	合計		19,902.36			30.8%		

4. 学区別特徴分析 4-12. 上尾小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の中央を南北に縦断するJR高崎線の東側で、上尾駅以南に位置しています。また、市域の南端となり、さいたま市と隣接しています。

交通

学区の西端にJR高崎線が、東端に国道17号が通っています。また、学区中央を南北に中山道が通っています。

土地利用

JR上尾駅周辺は商業施設と高層の都市型住宅があり、中心市街地を形成しています。また、国道17号沿線は商業利用が中心となっています。県道川越上尾線以南には、低層住宅を主体とする住宅地が広がるほか、県立上尾運動公園や一部工業地域があります。

II. 人口・世帯構成

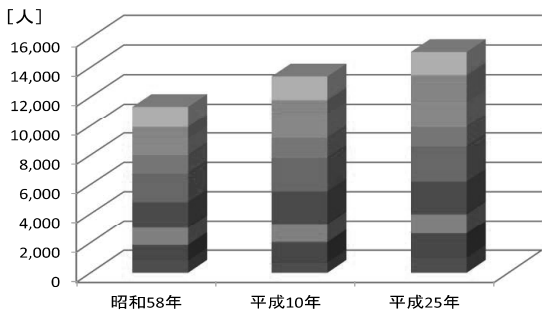
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
宮本町	805	670	1,007	0.7%	↘
仲町一丁目	1,040	1,361	1,616	1.5%	↗
仲町二丁目	1,180	1,261	1,344	0.4%	↗
愛宕一丁目	1,745	2,214	2,210	0.8%	↗
愛宕二丁目	1,964	2,302	2,396	0.7%	↗
愛宕三丁目	1,256	1,365	1,364	0.3%	↗
栄町	1,137	1,651	1,689	1.3%	↗
日の出(1~3)	801	958	1,845	2.8%	↗
本町一・二丁目	1,397	1,601	1,558	0.4%	↗
合計	11,325	13,383	15,029	0.9%	↗

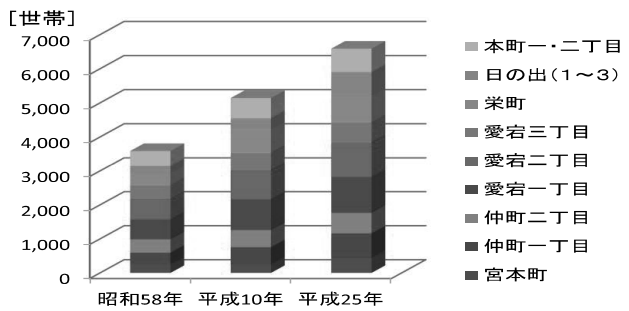
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
宮本町	247	255	444	2.0%	↗
仲町一丁目	345	498	717	2.5%	↗
仲町二丁目	395	508	610	1.5%	↗
愛宕一丁目	585	901	1,048	2.0%	↗
愛宕二丁目	606	862	1,019	1.7%	↗
愛宕三丁目	389	509	587	1.4%	↗
栄町	360	686	775	2.6%	↗
日の出(1~3)	220	327	704	4.0%	↗
本町一・二丁目	442	596	685	1.5%	↗
合計	3,589	5,142	6,589	2.0%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

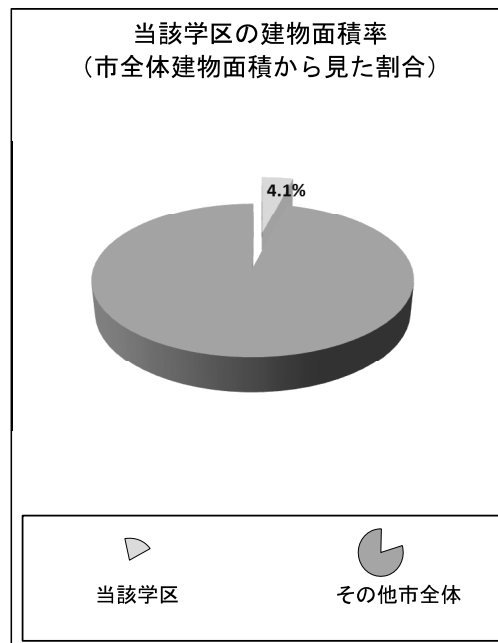
【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて増加しており、その後、平成25年にかけて伸び率が鈍化しているものの、増加傾向が続いています。

【事務区別人口】
全ての地区で増加傾向にあり、特に、日の出地区では人口が大きく増加しています。

【世帯数】
全ての地区で世帯数が増加しており、特に、日の出地区での増加率が高くなっています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4] 施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3] 学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

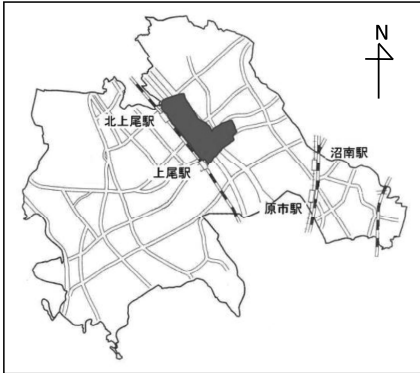
	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	上尾小学校	3-12-1	5,714.00	約45	47	95.7%	小学校	⑫
2	市民ギャラリー	3-4-4	293.47	約31	47	66.0%	文化施設	④
3	あたご保育所	3-10-8	807.40	約42	34	123.5%	保育所	⑩
4	上尾小学童保育所	3-11-12	160.00	約3	34	8.8%	学童保育所	⑪
5	上尾中学校	3-13-1	7,262.00	約58	47	123.4%	中学校	⑬
6	コミュニティ住宅	3-16-4	452.41	約17	47	36.2%	その他の施設	⑯
	合計		14,689.28			107.6%		

4. 学区別特徴分析

4-13. 中央小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の中央を南北に縦断するJR高崎線の東側にあり、北上尾駅から上尾駅にかけて位置しています。

交通

学区の西端にJR高崎線が、東端に国道17号が通っています。また、学区の中央を南北に中山道が通っています。

土地利用

JR上尾駅周辺は商業施設と高層の都市型住宅があり、中心市街地を形成しています。また、国道17号沿線は商業利用が中心となっています。JR北上尾駅周辺の幹線道路を離れたところでは、低層住宅を主体とする住宅地となっています。

II. 人口・世帯構成

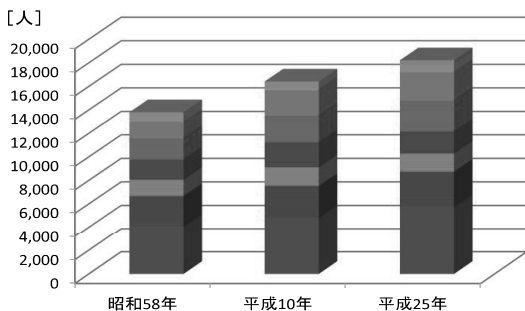
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
緑丘(1~4)	4,042	4,804	5,747	1.2%	↗
上町(1~2)	2,623	2,720	2,984	0.4%	↗
本町一・二丁目	1,397	1,601	1,558	0.4%	↗
本町三・四丁目	1,699	2,094	1,867	0.3%	↗
本町五・六丁目	1,806	2,269	2,635	1.3%	↗
柏座一丁目	1,409	2,212	2,427	1.8%	↗
原新町	825	714	686	▲0.6%	↘
レック上尾			311		
合計	13,801	16,414	18,215	0.9%	↗

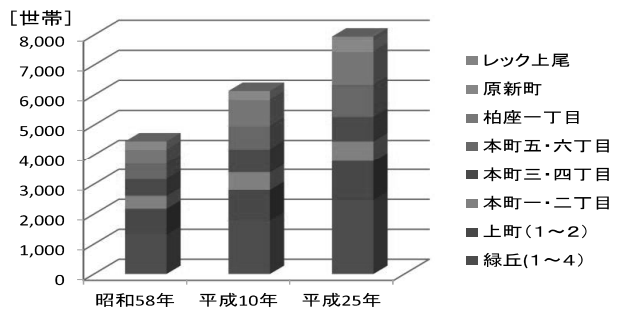
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
緑丘(1~4)	1,314	1,788	2,470	2.1%	↗
上町(1~2)	855	1,015	1,306	1.4%	↗
本町一・二丁目	442	596	685	1.5%	↗
本町三・四丁目	554	778	804	1.2%	↗
本町五・六丁目	523	773	1,067	2.4%	↗
柏座一丁目	483	890	1,115	2.8%	↗
原新町	285	298	363	0.8%	↗
レック上尾			136		
合計	4,456	6,138	7,946	1.9%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて増加しており、その後、平成25年にかけて伸び率が鈍化しているものの、増加傾向が続いています。

【事務区別人口】

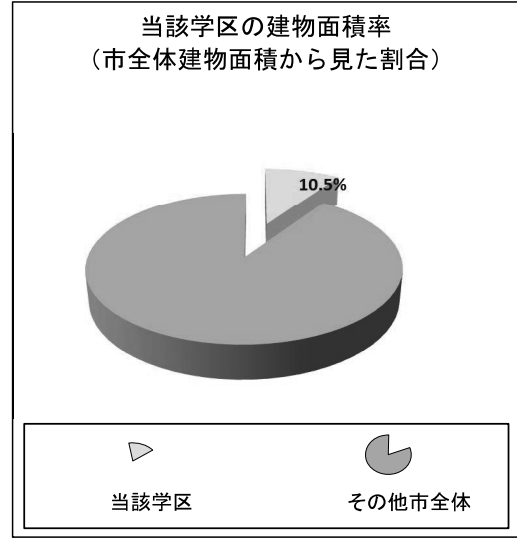
原新町以外の地区では、人口及び世帯数ともに増加し続けています。特に、柏座一丁目地区は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加しています。原新町地区は、人口はやや減少していますが、世帯数はやや増加しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、大きく増加しており、特に、柏座一丁目、緑丘(1~4)地区での増加率が大きくなっています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとします。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

施設番号	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	中央小学校	3-12-2	7,428.00	約60	47	127.7%	小学校	⑫
2	上尾市役所本庁舎(複合)	3-17-1	16,631.00				複合施設	●
	上尾市役所 本庁舎	3-1-1	16,570.00	約23	50	46.0%	市庁舎・支所・出張所	①
	市役所ギャラリー	3-4-5	61.00	約23	50	46.0%	文化施設	④
3	上尾市役所別館(複合)	3-17-2	1,532.00				複合施設	●
	青少年センター	3-7-18	219.60	約27	50	54.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
	少年愛護センター	3-7-19	75.60	約27	50	54.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
	教育センター	3-14-1	756.14	約27	50	54.0%	その他教育関連施設	⑭
4	上尾市役所 第三別館	3-1-2	1,186.00	約35	50	70.0%	市庁舎・支所・出張所	①
5	上尾市図書館 本館	3-2-1	2,649.00	約33	50	66.0%	図書館	②
6	プラザ館(複合)	3-17-11	1,131.47				複合施設	●
	上尾市図書館 上尾駅前分館	3-2-2	242.00	約27	47	57.4%	図書館	②
	ワークプラザあげお	3-7-12	217.08	約27	47	57.4%	福祉・生活・相談施設	⑦
	市民活動支援センター	3-7-13	180.79	約27	47	57.4%	福祉・生活・相談施設	⑦
	障害者就労支援センター	3-7-14	148.00	約27	47	57.4%	福祉・生活・相談施設	⑦
7	東保健センター(複合)	3-17-9	2,134.00				複合施設	●
	東保健センター	3-7-2	1,758.78	約1	50	2.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
	平日夜間および休日急患診療所	3-7-3	375.22	約1	50	2.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
8	上尾保育所(複合)	3-17-14	2,128.43				複合施設	●
	乳幼児相談センター	3-7-19	985.55	約22	50	44.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
	上尾保育所	3-10-1	1,142.88	約22	50	44.0%	保育所	⑩
9	緑丘保育所	3-10-14	687.94	約38	47	80.9%	保育所	⑩
10	中央小学児童保育所	3-11-18	194.00	約7	34	20.6%	学童保育所	⑪
11	原新町自転車駐車場	3-16-1	725.00	約14	38	36.8%	その他の施設	⑯
12	上尾医療センター	3-16-6	1,408.00	約27	38	71.1%	その他の施設	⑯
	合計		37,834.84			62.3%		

4. 学区別特徴分析

4-14. 東町小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

国道17号線を境に東端に位置し、学区の南端はさいたま市に、東端は伊奈町に隣接しています。学区内には、芝川が流れています。

交通

学区の西端に国道17号が、また、東側に第二産業道路(県道さいたま菖蒲線)が通っています。JR上尾駅と埼玉新都市交通の沼南駅・原市駅の3駅が利用できるものの、駅までは自転車やバスの利用圏となります。

土地利用

学区の西端に県立さいたま水上公園があり、低層住宅に加えて、工業地帯がある住工混在エリアです。

II. 人口・世帯構成

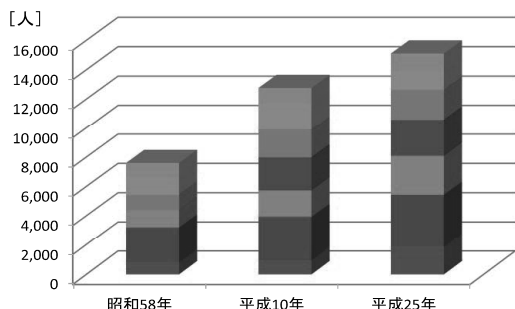
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
日の出(1~3)	801	958	1,845	2.8%	↗
東町(1~3)	2,395	2,962	3,582	1.4%	↗
陣屋	1,186	1,817	2,664	2.7%	↗
二ツ宮二区(H5から分割)		2,233	2,488		↗
第一区	1,056	1,921	2,049	2.2%	↗
柳通り北区	1,183	1,746	1,282	0.3%	↗
下平塚	975	1,126	1,194	0.7%	↗
合計	7,596	12,763	15,104	2.3%	↗

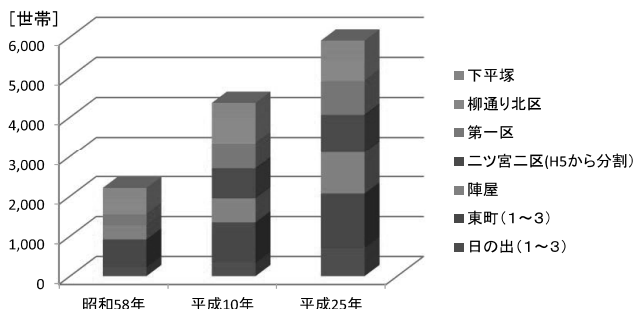
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
日の出(1~3)	220	327	704	4.0%	↗
東町(1~3)	695	1,015	1,358	2.3%	↗
陣屋	336	606	1,048	3.9%	↗
二ツ宮二区(H5から分割)		747	948		↗
第一区	298	649	846	3.5%	↗
柳通り北区	378	630	530	1.1%	↗
下平塚	277	382	474	1.8%	↗
合計	2,204	4,356	5,908	3.3%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加しており、その後、平成25年にかけて伸び率が鈍化しているものの、増加傾向が続いています。

【事務区別人口】

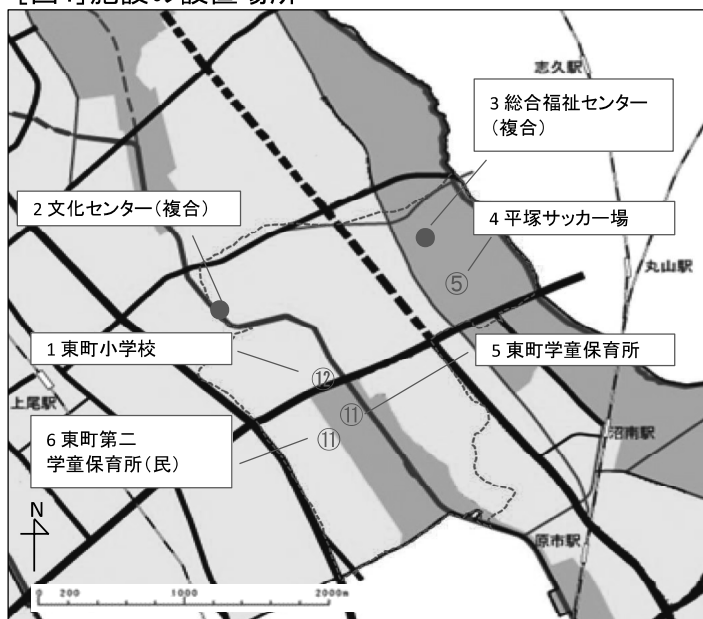
全ての地区で増加傾向にあり、特に、日の出地区、陣屋地区、第一区では人口が大きく増加しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、大きく増加しており、特に、日の出地区、陣屋地区、第一区の増加率が大きくなっています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとします。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています。

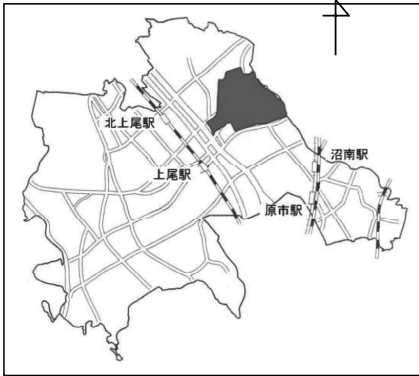
	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	東町小学校	3-12-19	6,352.00	約37	47	78.7%	小学校	⑫
2	文化センター(複合)	3-17-7	9,639.10				複合施設	●
	上尾公民館	3-3-1	1,039.34	約43	50	86.0%	公民館・集会所	③
	文化センター	3-4-1	7,419.66	約43	50	86.0%	文化施設	④
	商工会館	3-16-5	1,180.10	約36	50	72.0%	その他の施設	⑯
3	総合福祉センター(複合)	3-17-10	3,103.00				複合施設	●
	老人福祉センターことぶき荘	3-7-4	1,075.00	約26	50	52.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
	身体障害者福祉センターふれあいハウス	3-7-6	1,044.00	約26	50	52.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
	福祉作業所かしの木園	3-7-7	340.00	約26	50	52.0%	福祉・生活・相談施設	⑦
4	平塚サッカー場	3-5-9	43.00	約11	22	50.0%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
5	東町学童保育所	3-11-27	96.00	約25	27	92.6%	学童保育所	⑪
6	東町第二学童保育所(民)	3-11-28	52.06	(賃貸)			学童保育所	⑪
	合計		19,285.16			75.3%		

4. 学区別特徴分析

4-15. 東小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

国道17号線を境に、市の東端に位置しています。学区の東端は、伊奈町に隣接しています。

交通

学区の西端に国道17号、南端に県道上尾蓮田線、東端に第二産業道路(県道さいたま菖蒲線)が通っています。

土地利用

学区内は低層住宅が多くを占めますが、工場も点在し、住工混在した地域となっています。第二産業道路(県道さいたま菖蒲線)を境に、東端は市街化調整区域となっています。

II. 人口・世帯構成

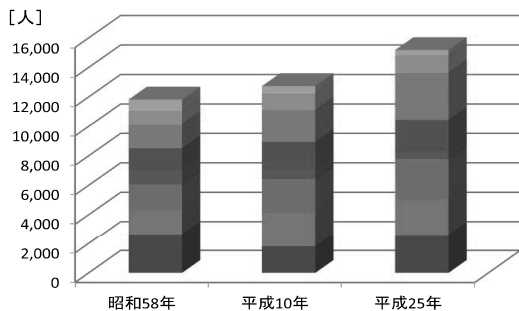
[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
ニツ宮一区	2,641	1,790	2,588	▲0.1%	↘
向原	1,602	2,326	2,541	1.5%	↗
本町五・六丁目	1,806	2,269	2,635	1.3%	↗
根貝戸団地	974	708	530	▲2.0%	↘
上平塚	1,480	1,850	2,136	1.2%	↗
中平塚	1,598	2,165	3,193	2.3%	↗
下平塚	975	1,126	1,194	0.7%	↗
平塚団地	746	497	358	▲2.4%	↘
合計	11,822	12,731	15,175	0.8%	↗

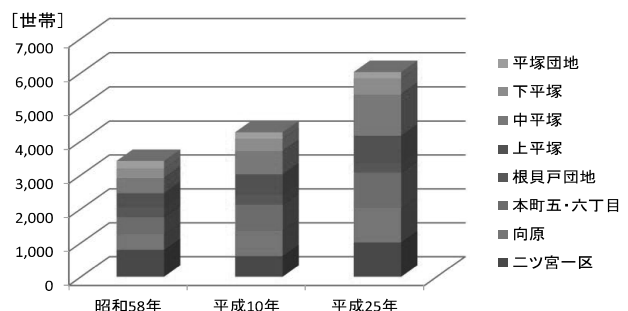
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
ニツ宮一区	787	603	1,008	0.8%	↘
向原	442	747	991	2.7%	↗
本町五・六丁目	523	773	1,067	2.4%	↗
根貝戸団地	299	290	290	▲0.1%	↘
上平塚	410	603	802	2.3%	↗
中平塚	450	685	1,210	3.4%	↗
下平塚	277	382	474	1.8%	↗
平塚団地	226	179	180	▲0.8%	↘
合計	3,414	4,262	6,022	1.9%	↗

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけての増加はわずかですが、その後、平成25年にかけても引き続き増加傾向が続いています。

【事務区別人口】

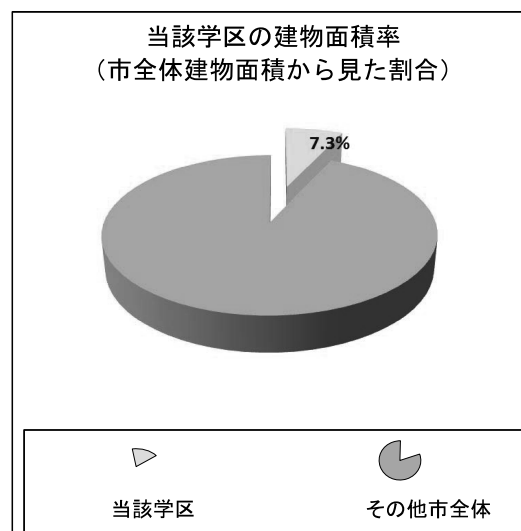
中平塚地区、向原地区では、人口が大きく増加しているが、根貝戸団地地区、平塚団地地区では大きく減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、大きく増加しており、特に、中平塚地区、向原地区で大きく増加しており、根貝戸団地地区、平塚団地地区では世帯数がやや減少しています。また、1世帯当たりの人数が根貝戸団地地区では、3.26人(昭和58年)から1.83人(平成25年)に、平塚団地では3.30人(昭和58年)から1.99人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4] 施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3] 学区内公共施設状況一覧表

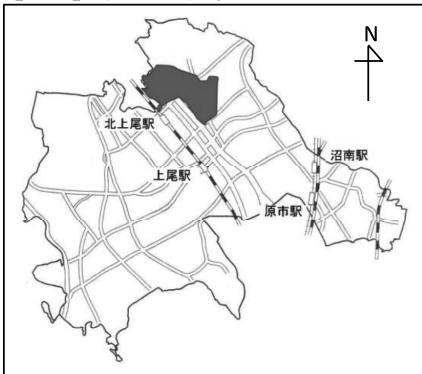
※は代表的な建物(棟)について表示しています。

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	記号
1	東小学校	3-12-10	6,003.00	約44	47	93.6%	小学校	⑫
2	イコス上尾	3-4-3	4,178.52	約27	50	54.0%	文化施設	④
3	児童館アッピーランド	3-4-7	1,545.00	約14	47	29.8%	文化施設	④
4	平塚公園テニスコート	3-5-8	7.00	約26	27	96.3%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
5	アグリプラザ平塚	3-5-11	170.36	約14	30	46.7%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
6	平塚公園	3-6-3	153.00	約27	30	90.0%	公園	⑥
7	消防本部・東消防署	3-9-1	2,659.06	約31	50	62.0%	消防署	⑨
8	東小学童保育所	3-11-15	173.00	約2	22	9.1%	学童保育所	⑪
9	東小第二学童保育所	3-11-16	134.92	約29	47	61.7%	学童保育所	⑪
10	東中学校	3-13-7	7,889.00	約38	47	80.9%	中学校	⑬
11	中学校給食共同調理場	3-14-2	2,306.40	約22	31	71.0%	その他教育関連施設	⑭
12	上尾市再開発住宅	3-16-3	1,114.00	約33	47	70.2%	その他の施設	⑯
	合計		26,333.26			72.6%		

4. 学区別特徴分析 4-16. 芝川小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の中央を南北に縦断するJR高崎線の東側に位置し、学区の西端は桶川市に隣接しています。学区内には、芝川が流れています。

交通

学区の西端にJR高崎線が通っています。また、学区内を東西に県道上尾久喜線が、南北に国道17号の幹線道路が通っています。

土地利用

土地区画整理が行われた低層住宅を中心とする住宅地となっています。北上尾駅周辺及び国道17号沿道は、商業利用が中心となっています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

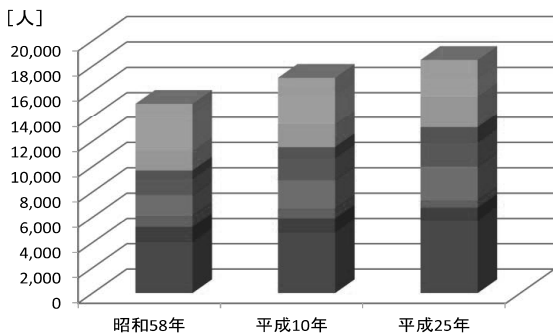
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
緑丘(1~5)	4,042	4,804	5,747	1.2%	↗
緑丘五丁目	1,184	1,090	989	▲0.6%	↘
上尾東団地	888	784	586	▲1.4%	↘
町谷	1,606	2,227	2,635	1.7%	↗
宮の下	1,293	1,723	1,922	1.3%	↗
久保	663	891	1,227	2.1%	↗
西門前	1,545	1,824	2,474	1.6%	↗
シラコバト団地	2,956	2,283	1,398	▲2.5%	↘
錦町	845	1,449	1,502	1.9%	↗
合計	15,022	17,075	18,480	0.7%	↗

[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

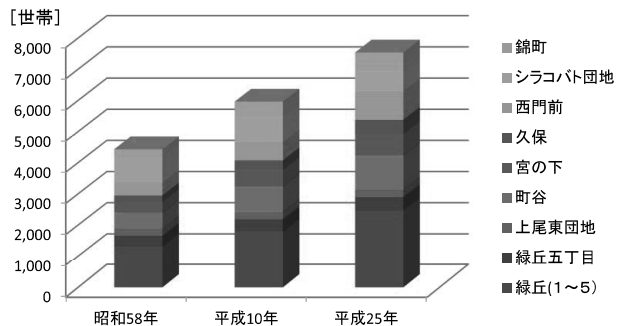
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
緑丘(1~5)	1,314	1,788	2,470	2.1%	↗
緑丘五丁目	342	392	421	0.7%	↗
上尾東団地	228	239	238	0.1%	↔
町谷	510	811	1,089	2.6%	↗
宮の下	356	534	703	2.3%	↗
久保	198	305	455	2.8%	↗
西門前	402	575	911	2.8%	↗
シラコバト団地	832	812	651	▲0.8%	↘
錦町	247	506	599	3.0%	↗
合計	4,429	5,962	7,537	1.8%	↗

*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率
*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移

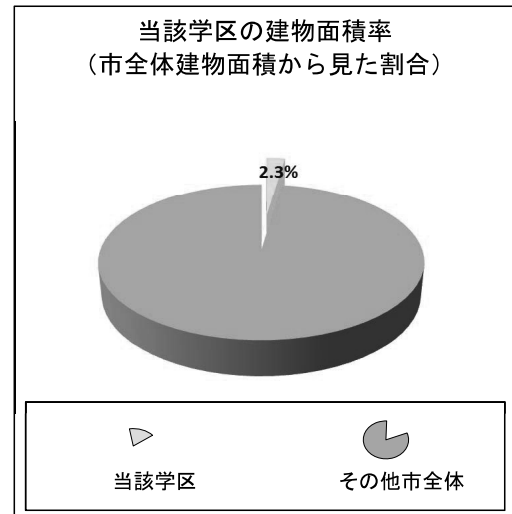


人口分析

【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成25年まで、やや増加しています。
【地区別人口】
町谷地区、久保地区、錦町地区では大きく増加していますが、シラコバト団地地区では大きく減少しています。
【世帯数】
学区全体の世帯数は、大きく増加していますが、上尾東団地地区では、世帯数がほぼ横ばいで、1世帯当たりの数が3.89人(昭和58年)から2.46人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

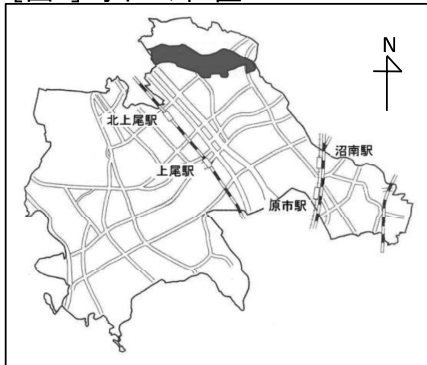
※は代表的な建物(棟)について表示しています

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	用途 番号
1	芝川小学校	3-12-15	7,688.00	約39	47	83.0%	小学校	⑫
2	しらこぼと保育所	3-10-7	476.85	約42	34	123.5%	保育所	⑩
3	芝川学童保育所	3-11-6	122.00	約16	22	72.7%	学童保育所	⑪
4	芝川第二学童保育所(民)	3-11-7	66.00	(賃貸)			学童保育所	⑪
	合計		8,352.85			84.5%		

4. 学区別特徴分析 4-17. 上平小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の北側に位置し、学区の西端は桶川市に、東端は伊奈町に隣接しています。西端に芝川、東端に原市沼川が流れています。

交通

学区の西端に国道17号、東端に第二産業道路(県道さいたま菖蒲線)、中央を東西に県道上尾久喜線が通っています。

土地利用

学区の西側は一部低層住宅を中心とした住宅地です。東側は、市街化調整区域となっています。この市街化調整区域内には上平公園があります。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

(単位:人)

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
宮の下	1,293	1,723	1,922	1.3%	↗
上郷	3,159	4,301	4,860	1.4%	↗
上新梨子	685	1,038	1,895	3.5%	↗
久保	663	891	1,227	2.1%	↗
西門前	1,545	1,824	2,474	1.6%	↗
南	556	530	754	1.0%	↗
南新梨子	455	485	552	0.6%	↗
下組	584	641	724	0.7%	↗
上平塚	1,480	1,850	2,136	1.2%	↗
中平塚	1,598	2,165	3,193	2.3%	↗
上尾第一団地	490	467	413	▲0.6%	↘
合計	12,508	15,915	20,150	1.6%	↗

[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

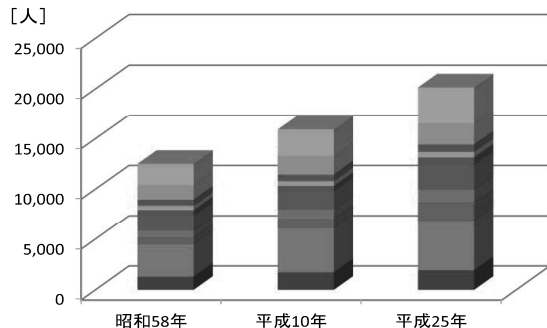
(単位:世帯)

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
宮の下	356	534	703	2.3%	↗
上郷	967	1,510	1,964	2.4%	↗
上新梨子	178	317	692	4.6%	↗
久保	198	305	455	2.8%	↗
西門前	402	575	911	2.8%	↗
南	164	186	279	1.8%	↗
南新梨子	118	147	201	1.8%	↗
下組	178	212	288	1.6%	↗
上平塚	410	603	802	2.3%	↗
中平塚	450	685	1,210	3.4%	↗
上尾第一団地	137	163	167	0.7%	↗
合計	3,558	5,237	7,672	2.6%	↗

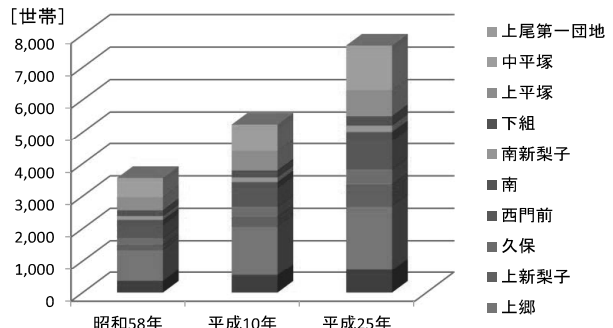
*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率

*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成25年にかけて大きく増加しています。

【地区別人口】

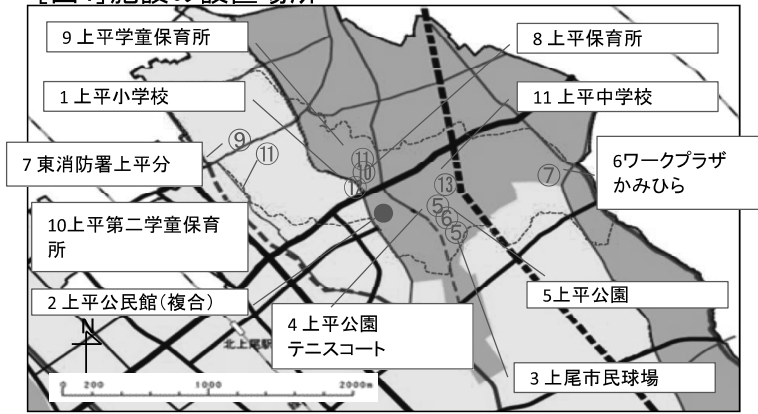
上新梨子地区、中平塚地区、久保地区で人口が大きく増加していますが、上尾第一団地地区ではやや減少しています。

【世帯数】

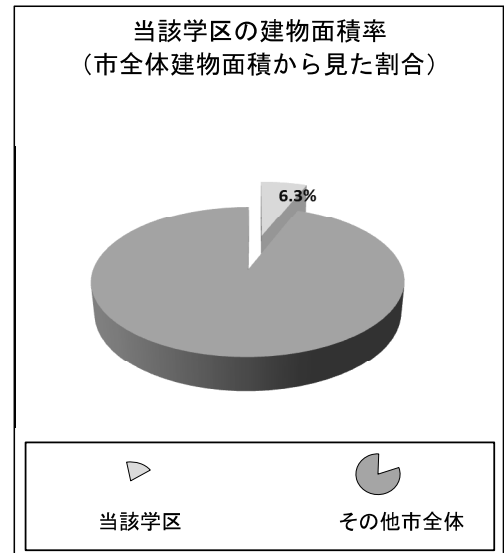
学区全体の世帯数は、大きく増加していますが、特に、上新梨子地区、中平塚地区での増加率が高くなっています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。



[表3]学区内公共施設状況一覧表

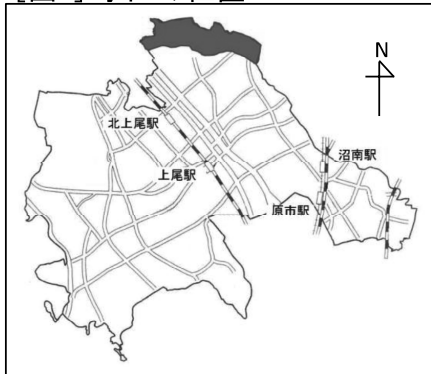
※は代表的な建物(棟)について表示しています

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年数 ※	老朽化率	用途	用途番号
1	上平小学校	3-12-7	6,703.00	約49	47	104.3%	小学校	⑫
2	上平公民館(複合)	3-17-5	1,486.84				複合施設	●
	上尾市役所 上平支所	3-1-7	34.53	約29	50	58.0%	市庁舎・支所・出張所	①
	上平公民館図書室	3-2-7	133.00	約29	50	58.0%	図書館	②
	上平公民館	3-3-2	1,319.31	約29	50	58.0%	公民館・集会所	③
3	上尾市民球場	3-5-1	3,992.60	約16	47	34.0%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
4	上平公園テニスコート	3-5-7	486.10	約16	50	32.0%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤
5	上平公園	3-6-2	—				公園	⑥
6	ワークプラザかみひら	3-7-16	460.83	約10	38	26.3%	福祉・生活・相談施設	⑦
7	東消防署上平分署	3-9-3	733.40	約20	50	40.0%	消防署	⑨
8	上平保育所	3-10-15	609.36	約36	47	76.6%	保育所	⑩
9	上平学童保育所	3-11-20	93.00	約33	27	122.2%	学童保育所	⑪
10	上平第二学童保育所	3-11-26	96.00	約28	34	82.4%	学童保育所	⑪
11	上平中学校	3-13-5	7,800.00	約49	47	104.3%	中学校	⑬
	合計		22,461.13			82.7%		

4. 学区別特徴分析 4-18. 上平北小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の北端に位置し、桶川市と伊奈町に隣接しています。学区の西端に芝川が、東端に原市沼川が流れています。

交通

学区の東側に、県道上尾久喜線と第二産業道路（県道さいたま菖蒲線）といった幹線道路が集中しています。JR北上尾駅までは、バス／自動車利用が中心となります。

土地利用

学区の西側に一部低層住宅がありますが、大半が田畑を中心とする市街化調整区域となっています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
上郷	3,159	4,301	4,860	1.4%	↗
箕の木	1,872	2,226	1,368	▲1.0%	↘
南新梨子	455	485	552	0.6%	↗
北中地	153	156	151	▲0.0%	↔
新田	507	427	389	▲0.9%	↘
上組	480	591	562	0.5%	↗
須ヶ谷	489	444	449	▲0.3%	↘
合計	7,115	8,630	8,331	0.5%	↗

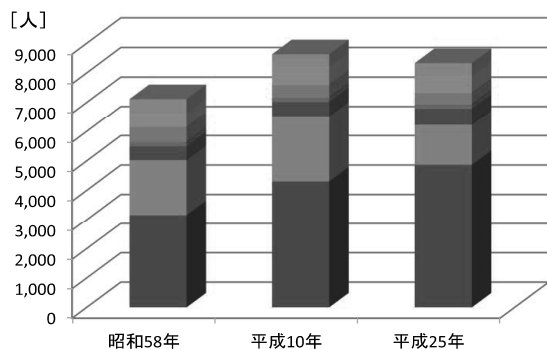
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
上郷	967	1,510	1,964	2.4%	↗
箕の木	501	717	546	0.3%	↘
南新梨子	118	147	201	1.8%	↗
北中地	39	44	51	0.9%	↗
新田	156	146	167	0.2%	↔
上組	131	182	225	1.8%	↗
須ヶ谷	145	143	187	0.9%	↗
合計	2,057	2,889	3,341	1.6%	↗

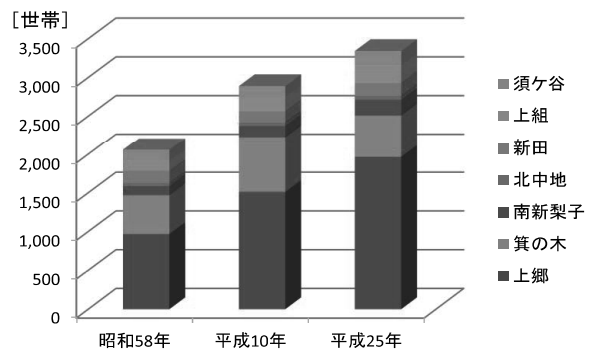
*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率

*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加していますが、その後伸びが鈍化し、平成25年にかけてわずかに減少しています。

【事務区別人口】

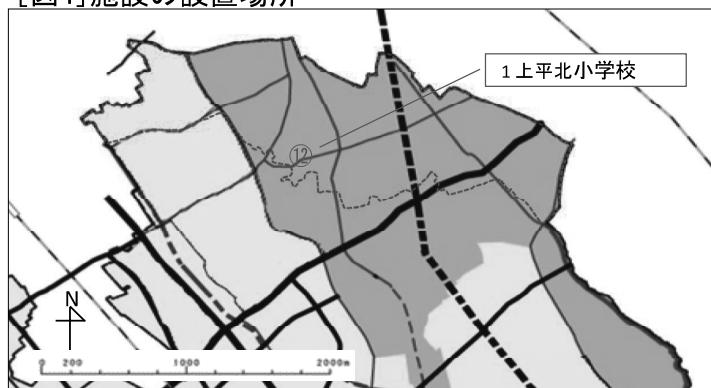
上郷地区では大きく人口が増加しています。箕の木地区では平成10年にかけて人口が増加していますが、その後大きく減少に転じています。

【世帯数】

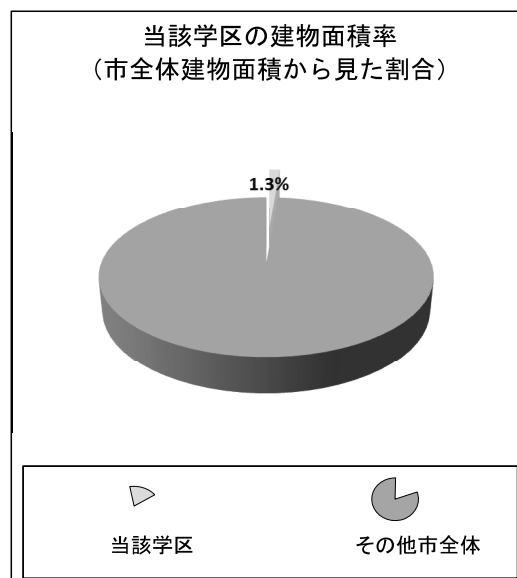
学区全体の世帯数は、大きく増加しており、特に、上郷地区での増加率が高くなっています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。



[表3]学区内公共施設状況一覧表

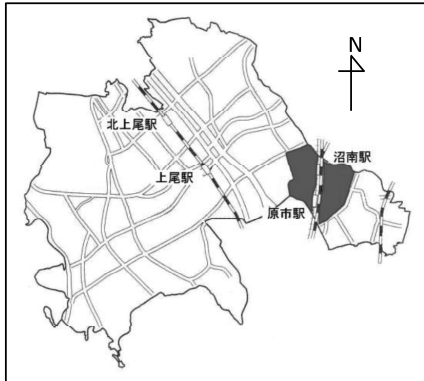
※は代表的な建物(棟)について表示しています

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	用途 番号
1	上平北小学校	3-12-22	4,599.00	約35	47	74%	小学校	⑫
	合計		4,599.00			74%		

4. 学区別特徴分析 4-19. 原市小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置
市の南東部に位置し、中央に埼玉新都市交通が南北に縦断しています。北端は伊奈町に、南端はさいたま市に隣接しています。

交通
学区内の中央を第二産業道路(県道さいたま菖蒲線)が通っています。また、学区の南端に埼玉新都市交通の原市駅が、北端に沼南駅があります。

土地利用 住宅利用が中心で、UR(都市再生機構)の原市団地があります。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

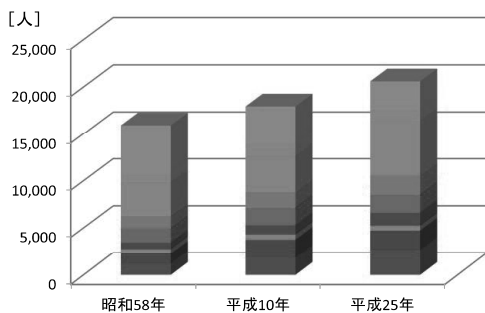
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
陣屋	1,186	1,817	2,664	2.7%	↗
第一区	1,056	1,921	2,049	2.2%	↗
第二区	498	562	525	0.2%	↔
第三区	694	984	1,362	2.3%	↗
第四区	1,527	1,859	1,901	0.7%	↗
第五区	1,278	1,643	2,052	1.6%	↗
第六区	3,558	3,780	5,848	1.7%	↗
第十区(原市台団地)	980	1,363	1,212	0.7%	↗
原市団地	5,145	4,012	2,987	▲1.8%	↘
合計	15,922	17,941	20,600	0.9%	↗

[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

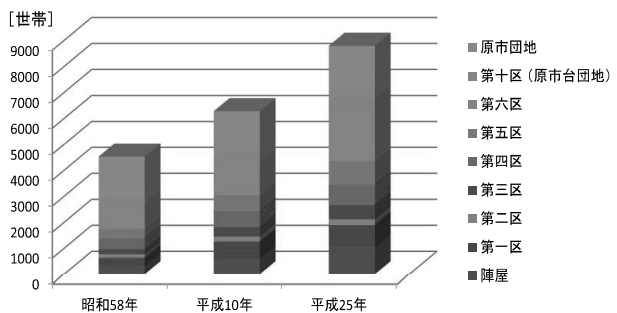
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
陣屋	336	606	1,048	3.9%	↗
第一区	298	649	846	3.5%	↗
第二区	135	201	223	1.7%	↗
第三区	189	349	534	3.5%	↗
第四区	409	637	794	2.2%	↗
第五区	364	585	901	3.1%	↗
第六区	985	1,255	2,390	3.0%	↗
第十区(原市台団地)	256	425	475	2.1%	↗
原市団地	1,552	1,569	1,579	0.1%	↔
合計	4,524	6,276	8,790	2.2%	↗

*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率
*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

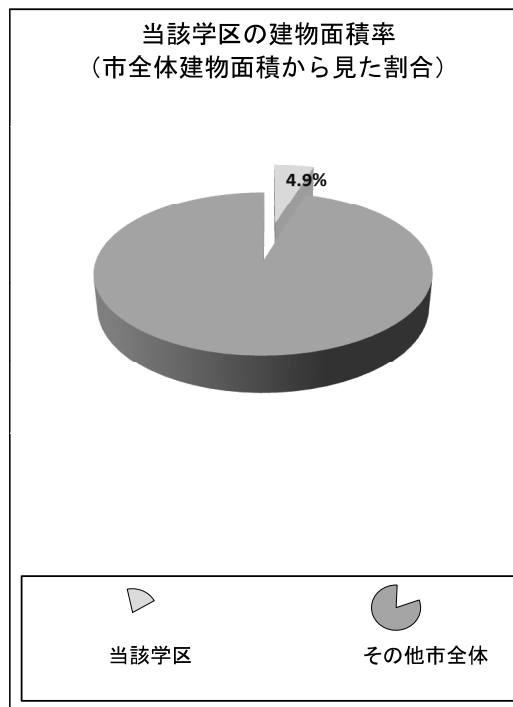
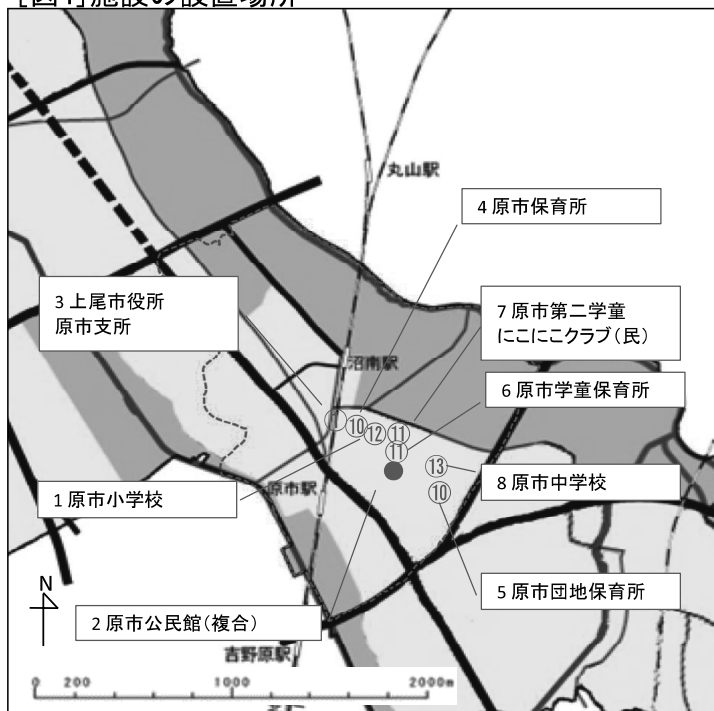
【学区全体の人口】
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけてやや増加し、その後、平成25年にかけても増加傾向が続いています。

【事務区別人口】
陣屋地区、第三区、第一区で人口が大きく増加していますが、原市団地地区では人口が大きく減少しています。

【世帯数】
学区全体の世帯数は、大きく増加しています。特に、人口の増加している陣屋地区、第三区、第一区では、世帯数も大きく増加しています。また、原市団地地区では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯当たりの人数が3.32人(昭和58年)から1.89人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています

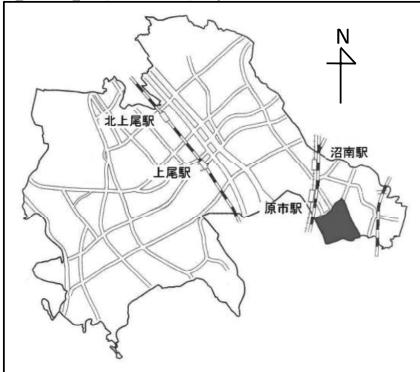
施設名	索引番号	建物面積 (m ²)	築年数 ※ (年)	償却年数 ※	老朽化率	用途	用途番号	
1 原市小学校	3-12-6	8,168.00	約43	47	91.5%	小学校	⑫	
2 原市公民館(複合)	3-17-6	1,139.75				複合施設	●	
	原市公民館図書室	3-2-8	127.00	約26	50	52.0%	図書館	②
	原市公民館	3-3-4	1,012.75	約26	50	52.0%	公民館・集会所	③
3 上尾市役所 原市支所	3-1-5	258.00	約37	38	97.4%	市庁舎・支所・出張所	①	
4 原市保育所	3-10-2	476.70	約59	38	155.3%	保育所	⑩	
5 原市団地保育所	3-10-4	286.32	約45	38	118.4%	保育所	⑩	
6 原市学童保育所	3-11-3	96.00	約26	27	96.3%	学童保育所	⑪	
7 原市第二学童にこにこクラブ(民)	3-11-4	170.70	(賃貸)			学童保育所	⑪	
8 原市中学校	3-13-4	7,043.00	約48	47	102.1%	中学校	⑬	
合計		17,638.47			94.6%			

4. 学区別特徴分析

4-20. 原市南小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の南東部に位置し、南端はさいたま市に隣接しています。

交通

学区内の中央を第二産業道路(県道さいたま菖蒲線)が通っています。また、埼玉新都市交通の原市駅や吉野原駅の利用も可能ですが、JR宇都宮線東大宮駅の徒歩圏にもなっています。

土地利用

土地区画整理が進み、低層住宅中心の住宅地となっています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
第六区	3,558	3,780	5,848	1.7%	↗
第七区	2,829	3,768	4,012	1.2%	↗
第八区	1,713	3,722	4,688	3.4%	↗
第九区	3,712	6,565	7,439	2.3%	↗
原市団地	5,145	4,012	2,987	▲1.8%	↘
合計	16,957	21,847	24,974	1.3%	↗

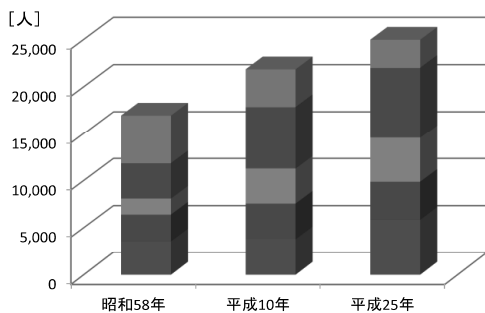
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
第六区	985	1,255	2,390	3.0%	↗
第七区	879	1,377	1,578	2.0%	↗
第八区	484	1,169	1,737	4.4%	↗
第九区	1,094	2,313	3,033	3.5%	↗
原市団地	1,552	1,569	1,579	0.1%	↔
合計	4,994	7,683	10,317	2.4%	↗

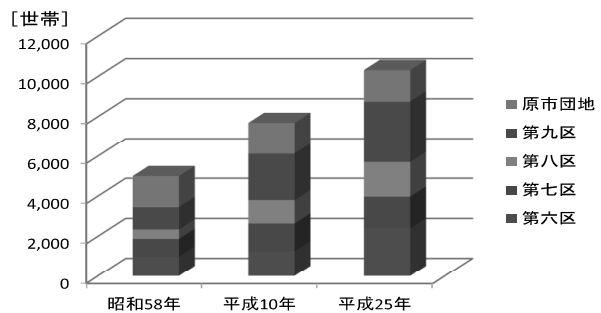
*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率

*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加し、その後伸びが鈍化していますが、平成25年にかけても増加傾向が続いています。

【事務区別人口】

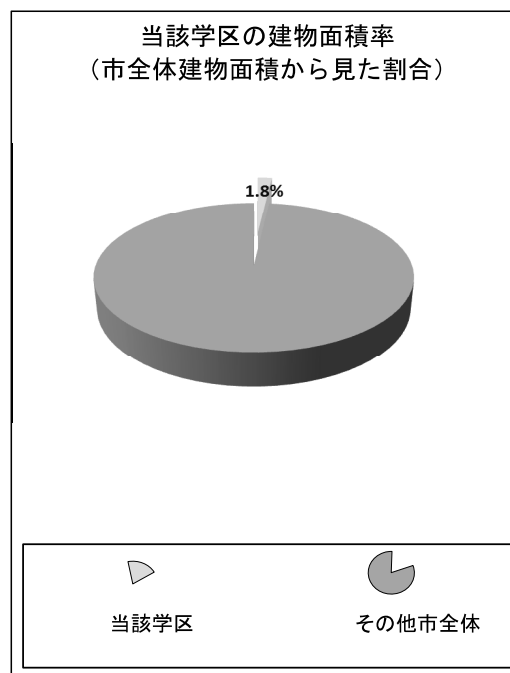
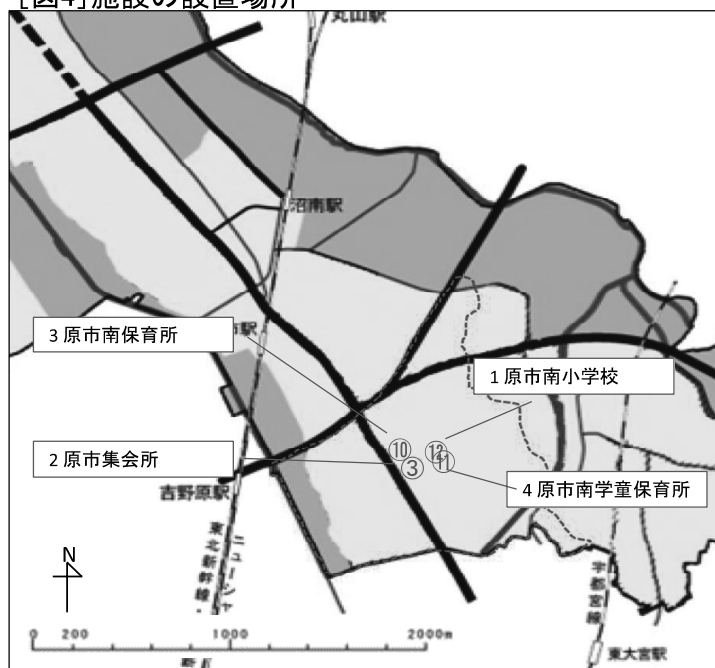
第八区、第九区、第六区での人口の増加が大きく、特に第八区で昭和58年から平成10年にかけての増加率が高くなっています。また、原市団地地区では人口が大きく減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、大きく増加しています。特に、人口が大きく増加している第八区、第九区、第六区では世帯数も大きく増加しており、原市団地地区では、世帯数は横ばいですが、1世帯当たりの人数は3.32人(昭和58年)から1.89人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものととなります。

[表3]学区内公共施設状況一覧表

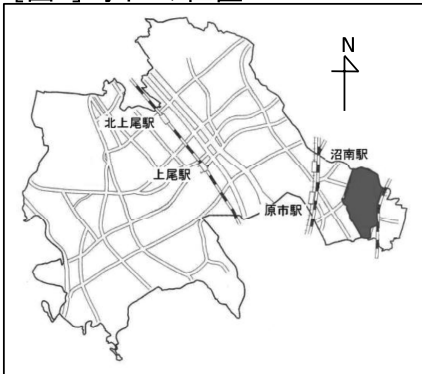
※は代表的な建物(棟)について表示しています

	施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年 数※	老朽化率	用途	用途 番号
1	原市南小学校	3-12-13	5,488.00	約40	47	85.1%	小学校	⑫
2	原市集会所	3-3-7	364.08	約39	34	114.7%	公民館・集会所	③
3	原市南保育所	3-10-13	518.00	約38	47	80.9%	保育所	⑩
4	原市南学童保育所	3-11-5	96.00	約24	27	88.9%	学童保育所	⑪
	合計		6,466.08			86.5%		

4. 学区別特徴分析 4-21. 尾山台小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の南東部に位置し、中央に埼玉新都市交通が南北に縦断しています。北端は伊奈町に、南端はさいたま市に隣接しています。

交通

学区内の中央を東西に国道16号線が、北側を県道さいたま栗橋線が通っています。また、JR宇都宮線東大宮駅の徒歩圏にあります。

土地利用

UR(都市再生機構)の尾山台団地があり、その周辺は低層住宅中心の住宅地となっています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
第八区	1,713	3,722	4,688	3.4%	↗
尾山台団地	5,766	4,331	3,180	▲2.0%	↘
合計	7,479	8,053	7,868	0.2%	↔

(単位:人)

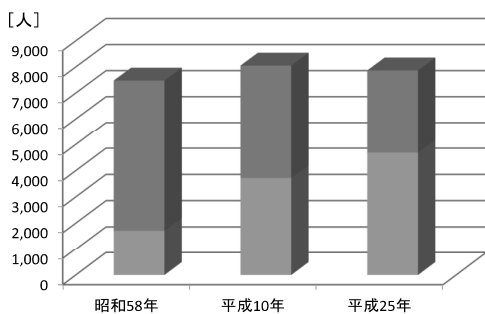
[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
第八区	484	1,169	1,737	8.9%	↗
尾山台団地	1,724	1,743	1,752	0.1%	↔
合計	2,208	2,912	3,489	3.1%	↗

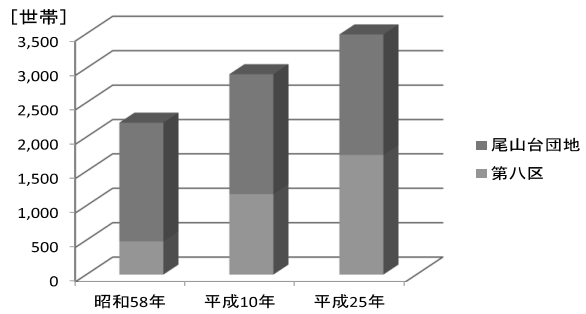
(単位:世帯)

*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけてわずかに増加していますが、その後、平成25年にかけてはわずかに減少しています。

【事務区別人口】

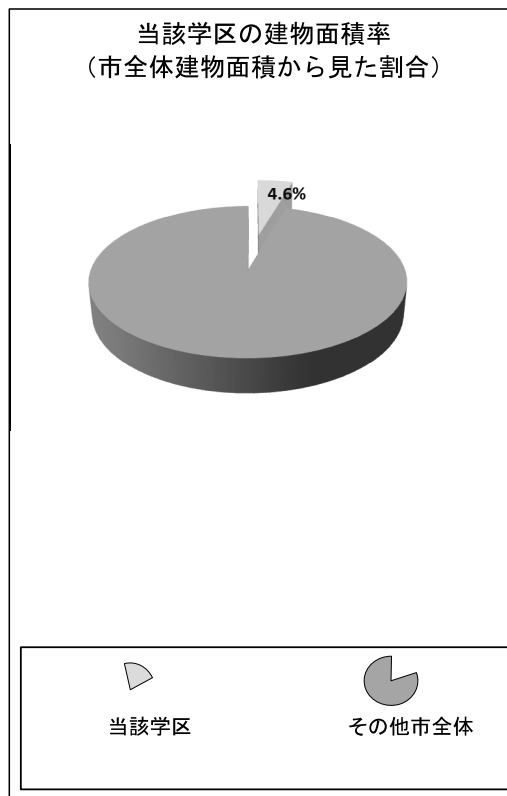
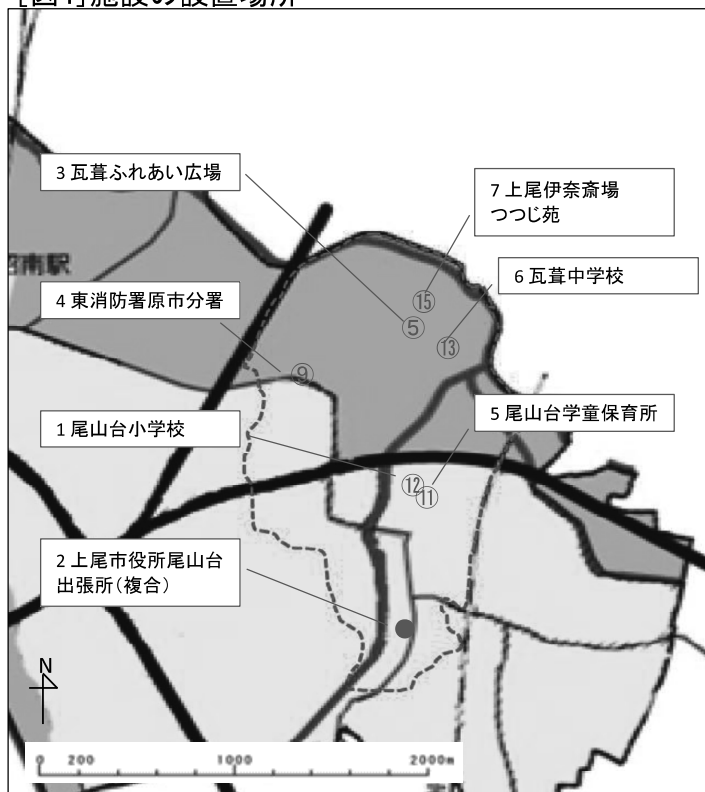
第八区での人口は昭和58年から平成10年にかけて大きく増加し、その後伸び率は低下したものの平成25年にかけても大きく増加しています。また、尾山台団地地区では人口が大きく減少しています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、大きく増加しています。特に、人口が増加している第八区では、世帯数も大きく増加しており、尾山台団地地区では、世帯数はほぼ横ばいですが、1世帯当たりの人数が3.34人(昭和58年)から1.82人(平成25年)に減少しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4] 施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものととなります。

[表3] 学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています

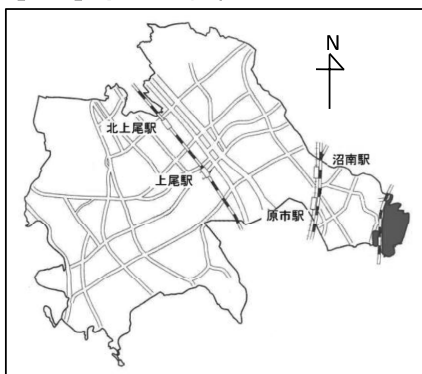
施設名	索引番号	建物面積 (㎡)	築年数 ※ (年)	償却年数 ※	老朽化率	用途	用途番号	
1 尾山台小学校	3-12-9	4,800.00	約47	47	100.0%	小学校	⑫	
2 上尾市役所 尾山台出張所(複合)	3-17-3	464.00				複合施設	●	
	上尾市役所 尾山台出張所	3-1-9	180.00	約27	38	71.1%	市庁舎・支所・出張所	①
	上尾市図書館 瓦葺分館	3-2-4	164.00	約27	30	90.0%	図書館	②
3 瓦葺ふれあい広場	3-5-10	441.00	約3	40	7.5%	スポーツ・レクリエーション施設	⑤	
4 東消防署原市分署	3-9-2	643.32	約35	50	70.0%	消防署	⑨	
5 尾山台学童保育所	3-11-1	106.00	約19	22	86.4%	学童保育所	⑪	
6 瓦葺中学校	3-13-9	5,220.00	約37	47	78.7%	中学校	⑬	
7 上尾伊奈斎場つつじ苑	3-15-1	5,000.00	約12	50	24.0%	葬祭場	⑮	
合計		16,674.32			65.7%			

4. 学区別特徴分析

4-22. 瓦葺小学校区

I. 位置・概要

[図1] 学区の位置



位置

市の南東部に位置し、東北本線が南北に縦断しています。北端は蓮田市に、南端はさいたま市に隣接しています。

交通

学区の北側を国道16号線が通っています。また、JR宇都宮線東大宮駅の徒歩圏になっています。

土地利用

一部は土地区画整理のされた低層住宅中心の住宅地域となっています。

II. 人口・世帯構成

[表1] 学区に該当する事務区の人口

	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	人口動態 *2
第九区	3,712	6,565	7,439	2.3%	↗
合計	3,712	6,565	7,439	2.3%	↗

(単位:人)

[表2] 学区に該当する事務区の世帯数

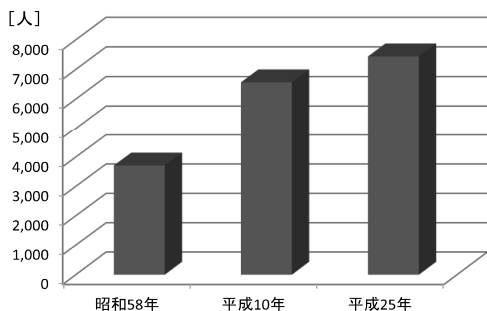
	昭和58年	平成10年	平成25年	増減率 *1	世帯動態 *2
第九区	1,094	2,313	3,033	3.5%	↗
合計	1,094	2,313	3,033	3.5%	↗

(単位:世帯)

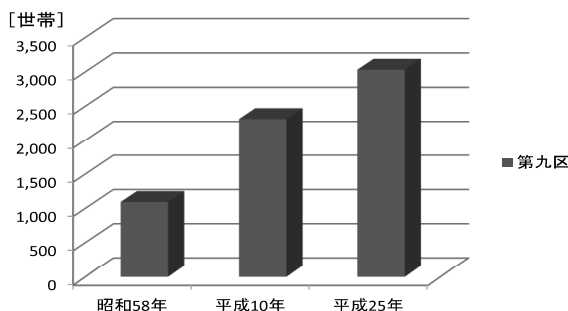
*1 昭和58年から平成25年の年平均増減率

*2 増減のイメージを示しています

[図2] 人口の推移



[図3] 世帯数の推移



人口分析

【学区全体の人口】

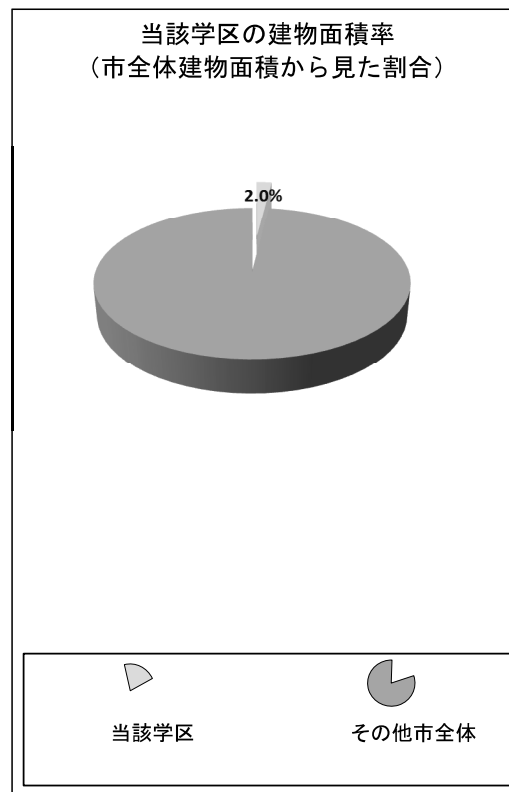
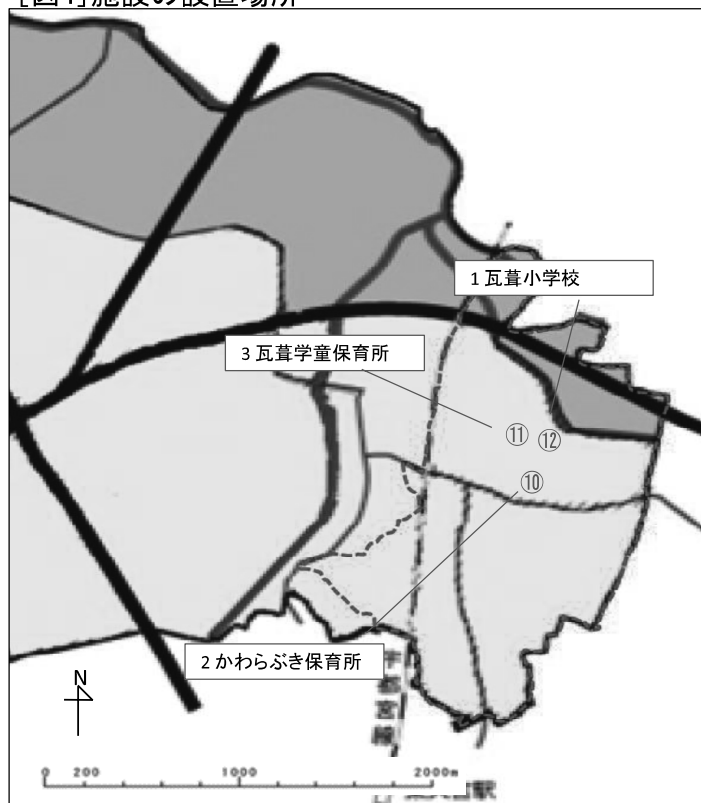
学区全体の人口は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加し、その後伸びが鈍化していますが、平成25年にかけても増加傾向が続いています。

【世帯数】

学区全体の世帯数は、昭和58年から平成10年にかけて大きく増加し、その後伸び率は低下したものの、平成25年にかけても大きく増加しています。

Ⅲ. 学区内施設

[図4]施設の設置場所



※点線は各学区を大まかに示したものとなります。

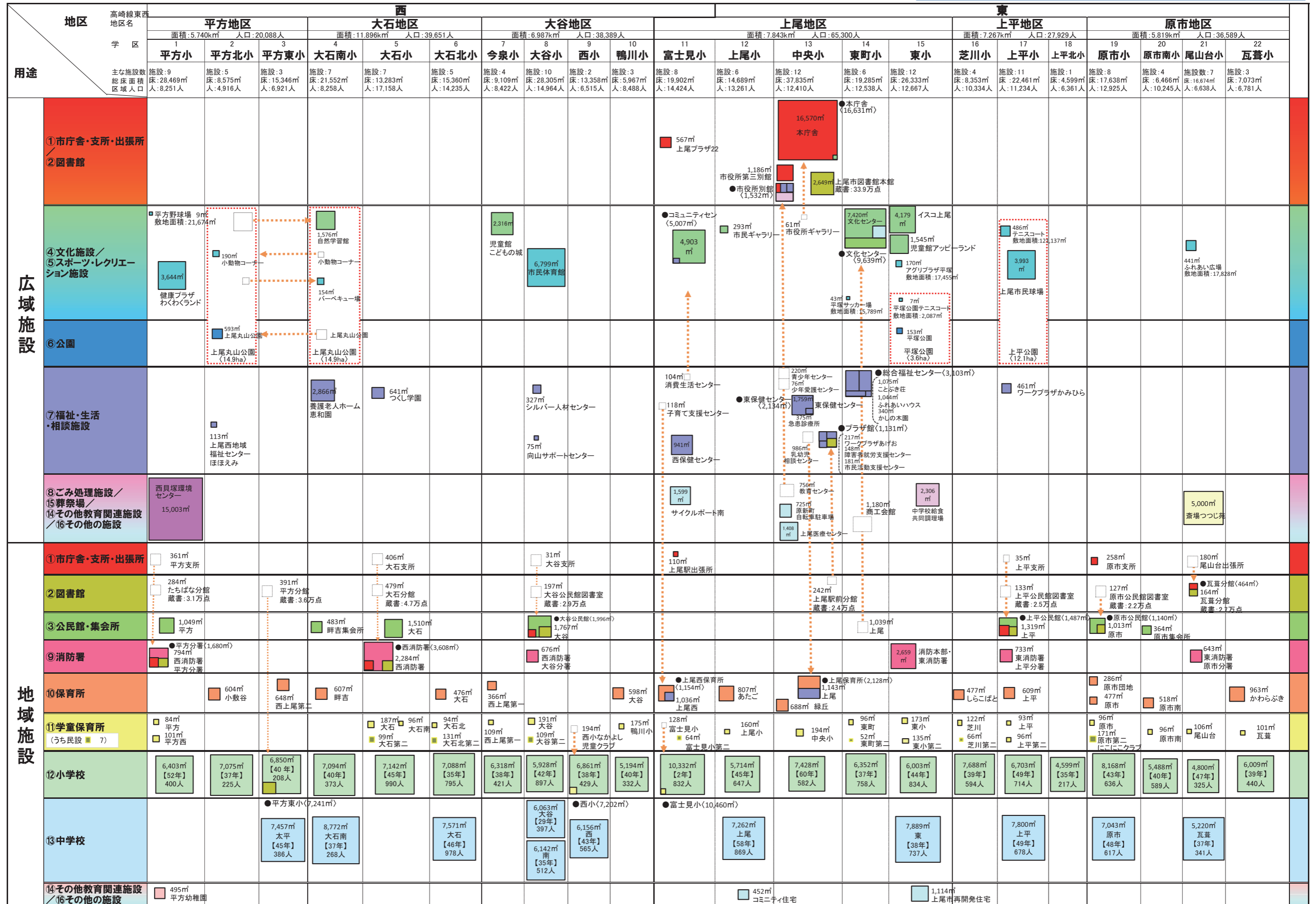
[表3]学区内公共施設状況一覧表

※は代表的な建物(棟)について表示しています

	施設名	索引番号	建物面積(m ²)	築年数※(年)	償却年数※	老朽化率	用途	用途番号
1	瓦葺小学校	3-12-16	6,009.00	約39	47	83.0%	小学校	⑫
2	かわらぶき保育所	3-10-9	963.40	約15	47	31.9%	保育所	⑩
3	瓦葺学童保育所	3-11-2	101.00	約17	22	77.3%	学童保育所	⑪
	合計		7,073.40			75.9%		

(再掲) 3 上尾市区域別公共施設配置図

上尾市データ			
人	口:227,946人	面積:45.55km ²	主要施設数:137(164)
人口密度	:5,004人/km ²	総床面積:360,635m ²	一人当たりの床面積:1.58m ²



★この図は、上尾市の公共施設の配置状況を多面的に把握するために、区域や用途、面積等を視覚的に表現したものです。
縦軸は、主に市全体での利用する施設と、主に地域で利用する施設とに分類し、さらに施設の用途別に分類しています。
横軸は、各施設の位置関係をだまかに示しており、大分類として東西に、中分類として6地区に、小分類として小学校の通学区域(学区)ごとに分類しています。

《凡例》

- の大きさは、各学区に立地する施設の面積をイメージ化したものです。
- 【 】 は、各施設の築年数を示しています。
- は、複合施設内の施設を表しています。
- は、複合施設の名称を表し、() は複合施設の合計面積を表しています。
- (点線) は、公園内の施設を表しています。
- ↑ は、複合施設の一部施設の用途表示を表しています。